京城日報

朝刊と合せて八頁

發行所 合資會社 京城日報社

列强大戰亂電報

▲佛獨戰線の大激戰 佛軍あらゆる武器を用いて努力す

巴里來電に依れば激烈なる砲兵戰に繼續せられ佛軍は優勢の地を占領し獨軍の塹壕を破壞し軍需品倉庫を墜ちたるがミューズの高地に於ける戰鬪隊は爆彈、飛行機、地雷の總てに依り最も猛烈に行はれつゝあり(倫敦發)

▲巴里來報に依れば全戰線に亙り猛烈なる砲戰行はれ地雷の爆發爆彈の投下等の爲に獨軍の防禦工事は甚大なる損害を被り佛軍の飛行機及び飛行船は多數の獨軍需品貯藏庫及び陣地に爆彈を投下して成功を收めたり(倫敦發)

▲巴里來電公報に曰引續き劇烈なる砲兵隊の活動は全線に亘て繼續したりエーネの北方に於て佛軍の猛烈なる砲撃は遂に敵軍をして其の防禦陣地を撤退するの止むなきに至らしめ佛軍は該陣地を占領せり、シカンペーヌの佛軍前線を偵察せんと企てたる獨軍の巡邏隊は全滅せり(倫敦發)

▲勃牙利全兵力を召集 殆んど全國男子は就役す

勃牙利は二十八箇部隊の豫備兵を召集せるが二十八歲以上四十七歲に至る年齡者を含み殆んど一國の全兵力を召集し盡したるの感あり(倫敦發)

▲希臘も動員令を發す

巴里來電に依れば希臘政府は動員令を發したる旨公式に發表せられたり同國議會は廿五日を以て召集せらるべし(紐育發)

▲勃國十萬の歩兵動員 騎兵と共に既に目的地に出動

アンゼンスより來電に曰ソフイアよりの來報は官邊及び外交界に深甚の印象を與へたり勃國の行動は嚴秘に附せられ居るを以て其詳細を知り能はざるも一般に漏れたる所に依れば勃國は動員令を布き既に十萬の歩兵と數箇聯隊の騎兵とは目的地に向け出發せりと(倫敦發)

▲露軍有利 南部にて獨軍を破る

露都發公報に曰く南部方面に於ける露軍は更に勝利を收めプペツト地方河畔部及びストリ河畔の森林を占領し捕虜及び機關銃を得たりヅウノ地方に於て露軍は獨墺軍を驅逐し重要なる堡壘を奪ひ又更に東部方面に於てクンカンヅ西北部の戰鬪にて多數の獨墺兵を俘虜とせり(倫敦發)

▲佛機成功 三十箇の爆彈投下

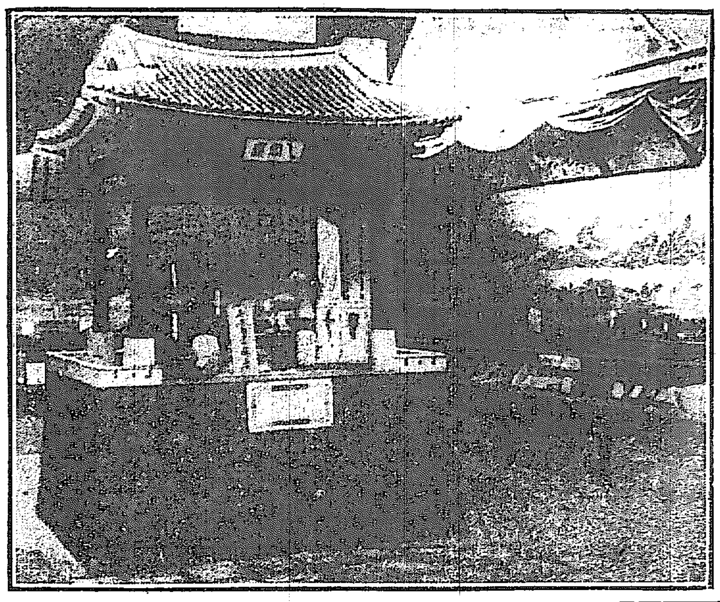
巴里發公報に曰く二十三日朝佛軍飛行機の一隊は獨逸スダツトガルト市を攻撃し宮殿及び停車場に三十箇の爆彈を投下したり右飛行機は此飛行中敵軍の攻撃を受けたるも何等の損害を蒙らずして根據地に歸來せり(倫敦發)

▲獨軍突破

伯林公報に依れば獨軍はドウインスク西方の露軍陣地を突破するに至れり(倫敦發)

○英國豫算案下院通過 一箇年一億萬磅以上の捻出と新聞評

英國豫算は滿場一致を以て下院を通過したり新聞紙は今回政府の行動を評して非常に大膽なりと云ふもあり又誠實果斷なりと云ふもあり唯新規稅額の比較的少額なりしには意外の感あるものゝ如し而して宰相は新稅に依りて一箇年一億萬磅以上の歲入を捻出せる手腕に對し賞賛を博し居れり(倫敦發)



平安南道々勢—共進會協賛會—

○帝政運動益々猛烈 決定は國民の投票に訴ふべし

北京の帝政運動者は今や國體問題速決の爲全力を集中し居れる觀あり之れが爲め第二次請願を企て二十三日既に各將軍巡按使の陳情建議あり二十五日には各所聯合會の請願あるべしと云ふ之れと同時に陸軍側の領袖等二十三日北京の軍部署に會合し速かに體形を定むべしと決議し王士珍、殷其瑞等の署名を以て建議せりと傳へらる此の時に際し支那政府の意嚮如何は尙は明白ならざるも二十三日數十名の軍人徐國務卿を訪問し速かに國體問題を定むべしと要求せるの一事は輕々に看過すべからざるに似たり御用新聞は國民會議の召集を待たず全國民の投票に訴ふべきは確實にして唯投票委員の選定に就き詮議中なりと報せり(北京特電)

○英勳章贈與式

英國大使館にては二十四日午前十一時大使館參事官及び陸軍武官參列の上青島攻圍軍司令官たりし神尾加藤兩中將に對し一等勳章ジー、シー、エム、ヂー勳章贈與式を行へり(東京特電)

○淺田大將來鮮

淺田大將二十五日朝關釜連絡船にて渡鮮す(門司特電)

○神戸視察團歸著

神戸滿鮮視察團二十五日朝大連より門司歸著す(門司特電)

○小澤男一行の來鮮

赤十字社副社長小澤男一行長崎理事外五名二十五日朝釜山着慶州を視察して入京すべしと(釜山特電)

○黑須加藤兩氏入京

代議士黑須龍太郎氏馬山を視察し廿六日入京すべし又代議士加藤定吉氏は廿五日京城に向け出發(釜山特電)

■共進會入場者

二十四日(金曜日、雨)

▲晝間 三千五百十九人
內地人 一千十八人
朝鮮人 一千五百四十四人
支那人 十五人
外國人 二十人
無料者 九百二十二人

▲夜間 千六百五十八人
內地人 三百三人
朝鮮人 八百十二人
支那人 八人
外國人 十三人
無料者 五百五十二人

▲合計 五千二百〇七人

△開場以來累計▽
▲晝間 十三萬八千百〇六人
▲夜間 七萬二千四百九十九人
▲合計 二十一萬〇六百〇五人

○元山稅關長通過

矢鍋元山稅關長二十五日京城に向け出發(釜山特電)

雜報

●大典と赤十字

日本赤十字社にては本年十一月京都に於て行はせらる可き御即位の大禮に對し奉祝の微意を表せんが爲め百八十萬の社員を代表して謹むで賀表を奉呈すると共に 天皇陛下に屏風一雙を 皇后陛下に硯筥並に文臺各一個を獻上するに決せりと

●鑛業家園遊會

鑛業懇話會園遊會は二十六日午後六時より朝鮮ホテルに於て開催總督府よりは山縣政務總監以下各部長官等列席す可く又た內外鑛業家も多數出席の由なるが當日は時間を勵行し食堂は正六時三十分に開かれ約一時間にて閉鎖し其れより後庭八角堂周圍に於ける模擬店を開く筈なり、來會者は館內の昇降に不便ある可きを以て成る可く靴又は草履を穿たれ度く又た服裝はフロックコート羽織袴若くは相當服なりと

人事消息

▲荒井賢太郎氏(度支部長官) 煙草耕作狀況視察の爲め三日間の豫定にて忠州淸州地に大田を視察す可く二十五日朝南大門驛發汽車にて出發せり
▲岡田虎輔氏(專賣課技師) 同上
▲渡邊春藏氏(平壤高女普通校長) 事務打合及び共進會見物の爲め十月一日上京
▲鳥居龍藏氏(理科大學講師) 廿五日午前京城より江華島に向ふ
▲堀田正一氏(實業家) 二十四日入京朝鮮ホテルへ
▲渡邊俊雄氏(工科大學敎授) 同上
▲横堀治三郎氏(博士) 同上
▲辻本謙之助氏(實業家) 同上
▲神保小虎氏(理科大學敎授) 同上
▲ウエルヘブン氏(鑛業家) 同上
▲マーテル氏夫妻(佛國商人) 同上
▲レーンダー氏(佛國商人) 同上
▲フアーレスト氏夫妻(米國商人) 同上
▲マツクキーン氏(英人鑛業家) 同上
▲ウイーゴール氏(英人鑛業家) 同上
▲マーテイン氏(米人鑛業家) 同上
▲レチストン氏夫妻(米國商人) 同上
▲前川銈以氏(技師) 二十五日入京同上
▲廣田理太郎氏(高田商會理事) 同上
▲ハツチン氏(英國商人) 同上
▲タウンセント氏(英國商人) 同上
▲ハンロン氏夫妻(鑛業家) 同上
▲パヅマン夫人及子女 同上
▲廣田直三郎氏(釜山中學校長) 滯京中の所廿五日夜歸任す

南北言語

木の葉が落ちる頃にはキツト腕前を御覽に入れると佛軍總司令官チヨツプル將軍の云つた事があつた▲却々待ち遠しかつたが其の通り秋が來ると急に佛軍全戰が活動を始めた▲地雷飛行機飛航船爆彈とあるとあらゆる武器を持ち出して獨軍を攻撃して居る頑强な獨軍も之れには閉口するだらう今の間に踏み碎いて置くべしだ▲其れにしても英軍は何うして居る金は僕が引き受けるから君等が死んで呉れでは相濟むまい▲ウイルナ南方で包圍された露軍は何うやら退却も安全であつたらしいがドウインスクでは獨軍が突破したと云ふ未だ〳〵勝目は見えぬ心細い事だ▲敗報イヤ退却の報を手にした露軍參謀總長ルーズスキー將軍は騷ぐ事はない冬季が來れば此方のものだと濟したもの▲佛軍は秋露軍は冬が來ねば戰爭に勝てぬ、春夏秋冬幕なしの獨軍は豪い、四季を通じて眠つて居る英軍は悧巧か弱いか平氣か大膽か頓と判らぬ▲勃牙利も動員をやつた而も全國の壯丁は殆んど召集せられぬものはない程だと▲一國を擧げて塞國に攻め入るなんて面白い▲希臘も動員をやつた之れで巴爾幹の西瓜も途に碎けた但し照が好いか惡いか見物人は益々面白くなる▲支那の帝政論者は大分焦心て居る軍人連もサーベルを曳き摺つて躍起らしい▲國民一般の投票にしなくつても可いではないか遠慮は御無用咽喉が鳴つて居るではないか

新學期開始
◎講習員大募集
活社會に大成功を希圖せば本講義に依りて實力を養成せよ、目下入學者には他に比例なき最大特典を與ふ

新式 實業講義

一ヶ年卒業
▲本校獨特の講習用字引つき
◎學費 一ヶ月卅九錢、六ヶ月二圓 一ヶ年三圓九十錢
校則見本無代進呈

講習科學 國語、實用作文、習字、數學、珠算、地理、英語、理化、商品學、商事要項、簿記、民法、商法、政治、經濟、農業大意、工業大意、實業講話、商業一斑、處世要訣、家政學

講師は早稻田、慶應、高商、高工、農大其他專門學校教授學士博士卅數名、說明懇切カナ附自宅獨習の最良機關 實業上最も必要の學識と實力を養成する進步的無比の通信教授なり

▲裝飾的の學問は社會に立身できず
▲社會は益々實力ある人物を歡迎す
▲戰後實業界の大活躍眼前に在り
▲實力なければ成功益々困難の時代
▲此際實力を養ひ立身の基礎を作れ

東京赤阪乃木阪檜町 大日本實業通信學校 電話芝五五〇六番 振替一〇九二番

浴場を新築し全く面目を一新せる
溫陽溫泉は泉質淸澄玲瓏如珠
京釜線天安驛より三里
自働車にて三十分
京城より溫泉場まで片道二時半の行程
浴槽は 普通男女浴槽四室の外御家族專用の浴室四あり硬質陶器を以て之を疊み結構は極めて美麗に有之候
旅館は 諸事整頓內地一等旅館に比し遜色なく至極可重に御取扱ひ申上候
部屋 貸室の設備をなし最も輕便にして居心地よく永く滯在の御浴客にて極めて御便利に有之候

明治大學校外生募集
校外生ハ講義錄ニ就キ修學スル者ニシテ目下新學期開始ノ際ナルヲ以テ申込ノ最好時期ナリ◎新學年講義錄ニモ種々ノ改良ヲ加ヘ且校外生ニ特典ヲ與フ◎詳細ナル規則書入用ノ向ハ申越次第送付ス

法科講義錄
本大學法科ノ學級ト同ク第一、第二、第三學年ニ分ツ◎月謝ハ各學年トモ四十錢トス但減額ノ特例アリ◎志望者ハ何學年ヘ入學スルモ隨意トス、三學年ヲ兼修スルトキハ一年ニテ全科目ヲ修了スルコトヲ得但速修センド欲スル者ノ便ニ供スル爲メ別ニ『法科特別講義錄』ヲ發行ス
各學年共十月初旬ヨリ發行、一箇年ニテ完結

法學選科講義錄
警察官、司獄官、諸種ノ普通文官、裁判所書記、府縣郡市町村吏員等ノ職司上及其受驗準備ニ必要ニシテ且ツ國民生活上必修ヲ要スル諸學科ヲ登載ス◎月謝ハ四十錢トス但減額ノ特例アリ
十月十日ヨリ發行、一ケ年ニテ完結

高等豫備講義錄
高等學校、高等商、工業、醫學專門其他ノ高等諸學校ノ入學試驗準備ニ必要ナル諸學科ヲ登載ス◎月謝ハ五十錢トス但減額ノ特例アリ
九月十五日ヨリ發行、七ケ月ニテ完結

東京神田駿河臺 明治大學出版部

婦人世界 十月號出づ
斯の如き結婚は必ず失敗す 新渡戸博士
◎悲境に沈んだ婦人の煩悶解決法…松村介石
事實奇談野分 ◎彼女の美貌は忽ち美望の的となつた、其結果は…下田歌子
米と副食物の研究 村井弦齋
◎ウソをいふ子供の研究とその所置…岸邊福雄
◎季節向き味つき御飯の炊き方…櫻井ちか子
日本新三景投票募集 第一回本號發表—一〇三八五和歌浦、一〇一九七耶馬溪、九〇二三男鹿半島以下全國絕景網羅 投票者に賞品を呈す一等百人に置時計以下八十名受賞、鄕里紹介のため揮つて投票あれ 詳細本號
◎單衣のしまひ方と洗ひ張の仕方 櫻田爾幡子
身體に似合ふ衣服の著方…寫眞入り 詳細說明 井上博士
◎幽靈はあるものか無いものか……
家庭小説 銀笛 多美子は日々に衰れて行く心の病の苦しさよ 小杉天外
◎翠の上達の早い人と遲い人と……伊東檢校
臨原多助の子孫 寫眞入 詳細
名和長年塙保己一 寫眞入
東京京橋南紺屋町實業之日本社 振替口座三二六〇一 一冊十五錢稅一錢五厘半年一圓五錢

共進會

眉宇に漂ふ堅き決心
見よ若き空中の勇者は 京城の碧落に羽搏たんとす

新進飛行家尾崎行輝氏は入京の途列車中に語りて曰く

廿一日京都を出發してから途中機體に故障を生じたもんですから一二箇所著陸して修繕を行つて來ました、何、飛行機ぢやありません、私が胃病に罹つて發生を二三日して居たものだから遲れちやつたんです

▲飛行機は運動具 飛行に趣味の飛行▼

私が飛行家になつた動機ですか、私に言はせれば飛行機は一種の運動具だと思つて居る位なんですから飛行家の飛行でなくして私のは趣味の飛行なんです運動は高等學校時代から大好きで運動と云ふ運動は大底知らないものはない位です、其中にも最も好きなのは山登りです、私の高等學校時代は鹿兒島でしたから暇さへあれば山登りをしたものです、一體高い處に行くのが好きな性質なんです、飛行機に乘るのも山登りに少し毛をかけた位のものですよ

▲乘物中で一番樂 心地のよい飛行機▼

今迄百回位飛びましたがね、何んでもないものです、素人に云はすと板子一枚の下を地獄とする船乘りよりも飛行家の方がより以上危險だと思つて居る樣だが、船だつて、車だつて又飛行機だつて結局同じことです危いと云へば地上を走る汽車も水上を辷る汽船も時々衝突するではありませんか、其點から云へば空中には障害物がなくて寧ろ安全な方です、一度乘つて御覽なさい凡そ世界中の乘物と云ふ乘物の中で一番乘心地のよいのは飛行機です、東京では婦人記者と同乘した所が私が著陸しようとすると、も少し上げよ〳〵と云つて催促する位ですから餘程乘心地がよかつたに相違ありません、机上の空論は駄目です飛行機のことを口にする者は必ず一度は乘つて見るものです

廿五日朝入京せる飛行家尾崎行輝氏 京城和田常市氏邸にて

▲私は自動車運轉手の免狀もある▼

何しろ百回飛んだと云ふもの丶飛行機の把手を握つたのが今年の六月なんですから私の飛行家生活は是れからです、飛行家になるまでには一二年前に東京と神奈川で自動車の稽古をして運轉手の免許を取つて居ます飛行家になるには必ずしも自動車の運轉の心得が必要かと云ふに强ちそうでもないが皆んな行つて居る樣です、自動車の構造が飛行機と非常によく酷似して居るからでしよう、西洋のある飛行家の言に、飛行家となる前に自働車の運轉に出て把手の使用を學びヨツトの操縱に依つて風力の加減を習ふを必要とするとあります

▲飛行機もお金次第ですと撓たり▼

飛行家となるに就ては、どんな資格を要するかと云つて一概にも云へないが、體が丈夫で相當の膽力さへあればいゝのですけれども要するに煎じ詰めた所は『金』ですよ、此金が無くちや手も足も出たもんぢやありません私なんかも六月に練習生となつて毎日一時間宛位飛行するのに十圓位は費るし一寸一個所破損した丈でも百の二百のと云ふ金がかゝるのですから貧乏世帶じや行られるもんではありません、今後の飛行機の發達も金さへあれば幾何でも日進月歩の新らしい機械を購入して飛行が出來ます、此點に就ては獨逸や佛蘭西邊の飛行熱と云ふものは恐しいもんです、日本が百にも足らぬ飛行機を是云つて居る間に何百臺の何千のと云ふ飛行機や飛行船が製出されると云ふ勢なんだから素破らしいではありませんか、洋行ですか、今の所何んとも考へて居ませんけれども行けと云へば無論喜んで行きます

▲たゞ飛行の樣に最善を盡したい▼

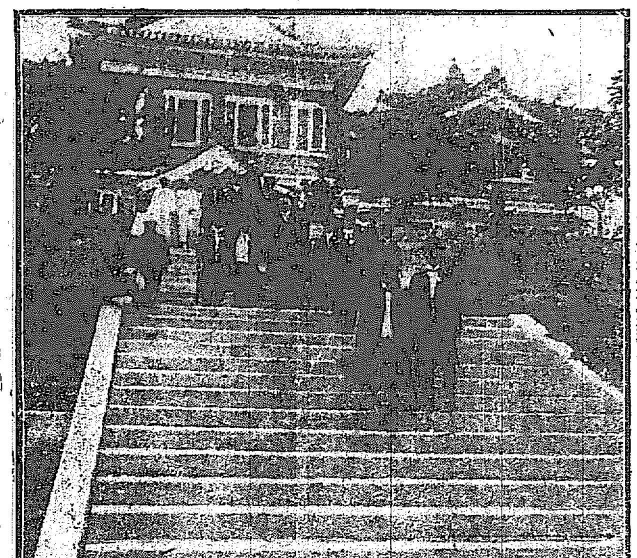
朝鮮で開かれる記念共進會に際し訪問飛行を二週間も打續けに私が行ると云ふことは可成に重い責任です、第一折角の御催しに萬一の失敗でもあつては何萬と云ふ觀覽者を失望させるのみか、主催者側たる京城協贊會に對しても迷惑をかける譯ですから、大事の上にも大事を取つて飛行を始めたいと思つて居ます、折惡しく目下少し體を害めて居ますからしてこゝ一週間位は專心飛行にのみ身を委ねて其他のことは一切關係しない考へです、目下私の體は只此榮ある共進會の訪問飛行と云ふ問題の前に獻げてあるのですから、其目的に向つて最善を盡せばよいと思つて居るのです

飛行場の視察

新進飛行家を乘せたる列車が南大門驛のプラツトホームに入るや井上理事長、澤柳少佐其他協贊會各役員の出迎を受け遠來の勞を犒はれつゝ旅裝を解く遑もあらせず、協贊會差廻しの自動車に乘じ飛行場に充てられたる龍山練兵場の實地踏査に向ふ練兵場では澤柳少佐一々場内の模樣を説明しつゝ自動車を驅つて飛行場を一周する『成程二十萬坪からある所澤の飛行場から來て見ると恐ろしく狹苦しい感じがするけれども辛うじて飛べないことはない、格納庫でも出來て組立を終る迄には未だ四五日間の餘裕があるからして此間にゆつくり體を靜養して目出度く第一日の飛行に着手したいものである』と云つた此青年飛行家の面には確き決心の色が現れて居る。

秘苑の秋
を徜徉した全國記者團 玉流川の『飛流三百尺』には流石に瞠若たり

全國記者團一行は二十五日午前十時李王家の招待を受けて昌德宮を拜觀した、一行は小宮李王職次官村上掌事の案内と説明を受け西行閣より結構壯麗を極めた仁政殿を觀て廻廊を一週し秘苑に向ふた廣袤五萬五千坪ある秘苑の秋色は漸やく深からんとして百年の老松は亭々として天を摩ひ松の根に絆はる蔦蔓は稍々紅染めて得も云はれぬ景色塵一つ落ち散つて居ない苑内の徑路を縫うて宙合樓に出た、宙合樓上には李王家より特に記者團接待の茶菓の用意が整つて居る、席定まるや小宮李王職次官一場の挨拶を述べ記者團を代表せる石川半山氏の答辭最後に石川氏の發聲にて李王家の萬歳を三唱して一行は堂樓上に思ふ樣秋色を掬した後小宮次官の案内を受け後園奥深く行く長陽門より進めば翠寒亭あり山を下れば逍遙亭、大極亭あり小亭に懸けた聯刻は字句頗る面白く『新聞の見出しも此樣な文句でやつたら面白からう』など語り合つて道に職業柄非な興味が深い、後園の行き詰まりに玉流川と云ふ溪流が三尺許りの瀧となつて落ちて居る、其上の岩個に刻して曰く『飛流三百尺、遙落九天來、見是白虹起、翻成萬壑雷』何んと大きな事を云ふものだ『ドーだ君、隨分大きな事を書くぢやないか君でも此瀧の形容に道應事は云へまい』『寶に之れ丈は全國記者團をして瞠若たらしめた』など云てついに手帳を出した事のない人まで之れ丈は後學の爲めに覺にて行かうと書き付ける、御苑を見終つて後方から昌慶園に出た結構壯麗東洋第一の稱ある植物園の温室、朝鮮古今の遺品名作一萬數千點を陳列した博物館では特に末松事務官の説明あり、尚珍禽奇獸四百を集めた動物園を一覽し正午こゝを辭して一行は特別仕立の電車に分乘して明月館に於ける朝鮮銀行の招宴に向ふた



記者團李王家秘苑拜觀 ―二十五日午後一時博物館前にて

堰を切つたやうに流入つた共進會入場者

時々頬をなめる二三滴の雨は落ち來たるありと雖も、昨日一日降り頻る秋雨は現に角歇みたるにぞ廿五日の共進會は堤に湛へられし水の溢れ、遂には堤を切りて押し流るゝがやう觀客の波打寄せ午前十時頃には光化門團體入口は全く人を以て塞がれ、後から後から續く團體電車通りまで行列を爲すの奇觀を呈せり此日學生團體には釜山よりわざ〳〵來京せる釜山高等女學校の生徒百四名の花の如き少女が茶に、紺袴に、海老茶袴のさばき忙しくパラソル手に手に持ちて各館を見物するを始めとして素砂小學校の生徒百三十一名仁川實業修學校生徒三十三名鮮人側の學生團には京城高等普通學校附屬普通學校生徒の百四十七名東大門通婦人學書學院五十四名光州農業學校生徒の三十五名、平南安州農業學校生徒の三十七名、抱川公立普通學校の三十名、永登浦普通學校生徒七十八名、鞍島普通學校生徒十九名、中央學校生徒七十五名、東彰學校生徒八十四名、仁川普通學校生徒百六十六名、三清女學校生徒三十名、校洞普通學校生徒百二十名、崇仁普通學校、蓮池洞普永學校等の前後して入場するあり鮮人團體としては京畿道廣州郡の八十三名多川郡の千九百二十二名といふ大團體、平北朔州郡の五十八名、昌城郡の五十二名、平南明川郡の百十四名、成川郡の七十三名、全北全州郡の三百三名、黄海道鳳山郡の百名等例の如く團體を先頭に繰込みたればその賑ひ云はん方なく十二時早くも團體のみにて五千名を算し一般觀覽者を加ふれば正午までにて一萬に近き入場者を見たり

▲兒玉事務長の案内で廿三日共進會を見物した記者大會の面々、何れも口の惡い方に屬するが、惡口と思はれてゐる丈に隨分思ひ切つた批評が出るだらうと固唾を吞んでゐたが驚きこそすれ貶めこそすれ平常程の皮肉も聞えぬので成程と一人感服して曰『長官の案内では其の筋々の急行で何も見やしない』▲開場の前日から晴れた空は廿四日遂々開場始めての雨を齎した、これで共進會場内の雨天試驗が行はれた、入場者は案外有つたが、困つたのは天幕張りの飲食店と休憩所と興行物であつた、休憩所は接待役が嚴へ避難する騷ぎ、興行物は勿論休業▲日の目に一番賑ひを添へたのは總督府用人連の家族慰勞會で演藝館を午前中貸切つて各々御馳走を開いて食ひ且つ飲みつゝの見物で大喜び▲團體見物の鮮人地方團光團連には隨分珍聞が多くない▲噴水の水が天に向つて飛ぶのが不思議でならぬとても説明が呑み込めぬので『大方魔術だらう』▲毎朝乘り込む團體が何れも之も揃つて豫定より十四五人から多きは廿人位必ず少い何日午前何時何處そこに集合の事と合圖はしてあるのだが集合場所に行くまでに先づ市街の壯觀に魅いてキヨト〳〵してゐる間に時間に遲れて仕舞ふのだとは嘘の樣な本當のこと▲演藝部の内地人の活動辯士は風采も立派でハイカラなると京城第一だそうだが時々滅法もないウソと甚しい戲言を云ふ、面白くお可笑しく説明する位の所で止めて欲しい▲慶會樓西畔の松林中に建てられてゐる風雅な四阿、成南の休憩所は七百圓かゝつたのださ或人が話つてゐた。

廿五日夜慶會樓畔の煙花

廿五日午後七時半より共進會慶會樓畔にて東京鍵屋の拔技なる仕掛煙花數番あり折柄の露をふくみたる松林樓閣の飾電と相映じて大美觀を呈す可し

令孃の纖手に斷つた畵舫の繫索
大同江の碧流を彩る平壤名物樂浪丸の美はしの姿よ

朝來細雨霏々として斜に人を射る九月廿四日正午大同江畔稅關構内に於て畵舫進水の式を擧ぐ、勝頭平壤名勝舊蹟保存會長松永武吉氏は起つて式辭を朗讀し樂浪丸と命ずる旨を宣するや次で大橋恒藏氏は來賓を代表し祝詞を述べ氏の拍子に送られて壇を降るや來賓一同は山下理事長代理の先導にて畵舫の繫留場に到る、玆には早や芽出度〳〵の

▲祝歌勇まし〳〵 即ち松永長官の令孃愛子(一五)は奉書に水引をかけたる一包を恭しく頂き、中より小刀を取り出して衆人環視の裡に悠揚迫らず美事に繫ぎの綱を切つて落せば工匠井上氏斧を揮つてエイとばかりに纜を斷つ、見よ!駿玉、澄珠、鳳凰は破裂して翔けるが如く深碧を望んで眞一文字に進み華かにも亦麗しき姿の溶々たる浿江の水に浮びたる時は喝采暫時は鳴も止まざりしが餅撒を了つて再び江岸に引つ返し來賓四十餘名を乘せて稅關ランチの後に從ひ

▲矢を射る如く江水を遡つて練光亭附近に到る、今この淡彩濃色生けるが如き鳳船を御し紅欄朱壁、詩趣饒き練光亭に對せる人々は感興更に加はり恍として醉へるが如し斯くて試乘を了ると共に來賓は再び式場に歸り茶菓の饗應を受けて散會玆に芽出度く進水の式を終れり 當日は初め江岸間近く式場を設へ紅白の幔幕を張り萬國旗を吊すなど萬手振りたく準備されたれど生憎の雨に式場を變更せし係員の遺憾想ひやられたるが折柄の雨を厭はず支障なく進水し得たるは望外の喜びなりしならん

共進會場の遺失物

共進會場にては現金を初め其他種々の手荷物等の拾得物は場内警備に努め居れる警備係警官の手に於て保管しあれば遺失者は遠慮なく係の警官に就き照合して受領すべく開會以後に於て保管中の諸物品目下多數保管しありといふ

傳染病豫防勵行

昨今氣候の變調と共に傳染病發生の懼なきに非ず共進會期間中は京城へ集散する旅客多く殊に本月末には閑院宮殿下の御入京等あるより道警務部初め各警察署にては此際一層傳染病の豫防撲滅に努むべしと

目賀田夫人消息

入京中なりし目賀田男爵夫人は二十四日夜平壤に赴けり、二十八日再び入京當分滯在す可く歸途は金剛山見物の豫定なりと

警衛取締協議

二十四日午前八時半より警務部に於て京龍の際署長會議を開き本月末閑院宮殿下の御入京に關し警衛取締及び其他に就き協議せり

近江人の送迎會

近江人會は同國出身の歩兵大佐奥野英太郎氏の榮轉を惜別し、商伊藤忠兵衛氏の來京を歡迎する爲め二十七日午後六時朝鮮ホテルに於て送宴會を催す筈なり

明日の家庭博

二十六日は日曜日(入場券二枚を要する日)なるも家庭博開會以來連日の盛況に付聊か自祝の意にて入場料を晝夜とも特に平日並み(大人十錢小人子供半額)とす

一萬個僞造 仁丹

は仁丹の僞造を思ひ立ち氣て昵近なる熊本市西河原町……百圓儲け一旦歸國したるも忽ち遊蕩をも數多押收し前記共犯者の收監は……

天氣 小雨後曇り

九月二十七日九星 舊八月十九日辛酉

商業登記公告

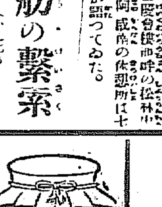
支配人選任 支配人ノ氏名住所 京城府寄藥町壹丁目百五拾番地 張義植 主人ノ氏名住所 京城府元町參丁目六拾壹番地 安泰昌 支配人ヲ置キタル場所 京城府元町參丁目百六拾壹番地 右大正四年九月貳拾貳日登記

左記ノ者朝鮮勸農株式會社監査役ニ選任シ大正四年九月拾八日就任シタリ 富山縣青敷郡山口町大字相物小路拾貳番地 千々松安太郎 右大正四年九月貳拾參日登記

京城地方法院

一、鎭六拾四筋 右賣買ス詳細ハ九月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府



宇治茶 月桂園 京城旭町一丁目 電九九八番

小生儀道回朝鮮鑛業視察を試み同伴者には世界に於て著名最大なるタングステン重石工場經營者ハリス研究所技師エチ、エス、ウイリヤムス氏を仰し仔細に視察仕り候然るに弊店は多年同研究所へ向け重石其他鑛石の業務の擴張を圖り當朝鮮京城へも出張店相設け度く候間何れ朝鮮鑛石の輸出確定の上は直接京城に於て高價に現金買仕る可く弊店は直接輸出に付き餘程御客樣の御便利かと信じ候 横濱山下町九十六番地 貿易商 ジー、アール、アーレン

期米 取引 難賣買 定期米賣買之桊無代進呈 前金注文は紹介を要せす 大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人 入江商店 電話東長 一二九六 一七九九 一三四六

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 京城日報社 寫眞製版部

明治足袋 廣島市 三宅商會

急告

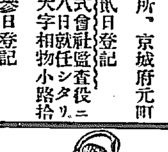
梅毒專門藥唯一丸 梅毒臨毒横根痳瘡よりまちす病毒より來る病毒は毒菌を治滅すると共に安全に體内より驅除すべき靈藥により其目的を達す現今の梅毒藥は中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特効を併有するは唯一丸なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ

全國有名藥店にて販賣せり

梅毒養生法 無代進呈 送料四錢

發賣元 中西藥局 東京市牛込區神樂坂上 振替東京千五百番

蒲蒙處分論 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番



●新荷著アンクル式片側懷中時計● 時間整正確實體裁優美品質の良好なるは天下無比

十九形 鐵側
十六形 同
十一形 同腕時計鎖付
十六形 同ニツケル側
十三形 同
九形 同(機械表示)
六形 同
九形 同
八形 銀鍍金(調刻蓋)
六形 金鍍金調刻兩蓋側
九形 銀
七形 同(銀七寶)
一形 同(腕時計)
九形 金バリ(十年保險)
八形 同
六形 同
十八金

[illegible]

イングレツソル商會 京城本町二丁目

父阪本長隆儀豫而病氣之處本日午前九時死去致候に付生前辱知各位に謹告候也 追而途中行列を廢し明廿六日午後三時大和町三丁目自宅出棺寺に於て佛式葬儀相營候

男 阪本隆藏 弟 川井斧二 中村再造 友 和田常市 山田五兵衛 森勝次 總代人 曾我勉

荊妻シヅ儀永らく療養中の處藥石効なく本日午後五時死去致候に付此段四辱知諸彦に謹告候也 追而途中行列を廢し廿七日午後四時仕行仁川寺にて葬儀執行仕候 大正四年九月廿五日 夫 木村清太郎 義弟 木村中一 親族總代 小山喜八

葬具萬般整頓罷在り葬業に經驗深き者專ら斯業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候 京城大和町一丁目(總監部通) 大和葬儀舍 電話二四三八番

本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候 二川屋事 旭町二丁目(名古屋館下) 株式會社京城葬儀社 電二五六七番 霊柩馬車の設備有之候 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番

西洋人の觀た家庭博

ガウ氏の穿つた批評

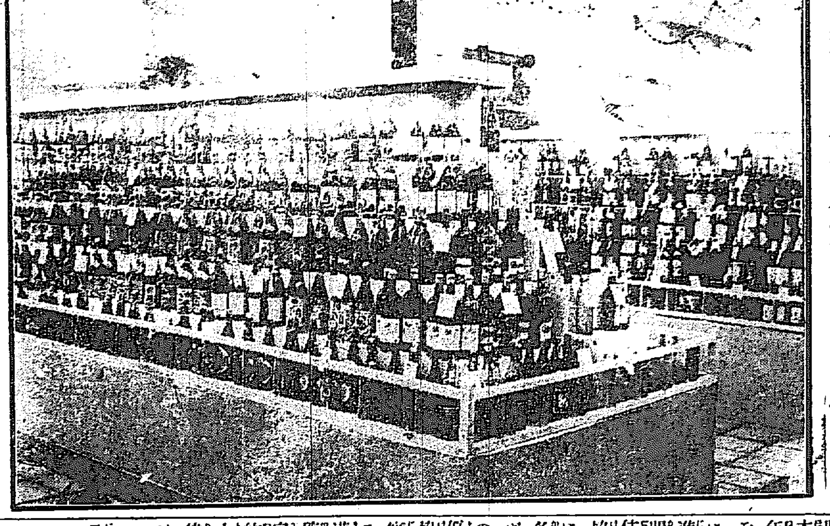
家庭博が一般内鮮人に限りない興味を以て迎へられつゝある事は既に記すところだが又支那人西洋人間にも歡迎を受け京城駐在の各國總領事その他の來觀も大分あつたが數日前その夫人と共に來觀したブリユースター、ガウ氏はその感想を語つて曰く

家庭博覽會に於て家や家庭の模型を面白く且つ教訓的に公衆の面前に示す事の出來たのは全く結構な事ですが英國の諺に『搖籃を搖る手は世界を支配する』と申す事がある是れを謂ひ替ゆれば婦人の助力と共同がなければ世の中はみじめなものになると申すのです、不充分な家庭思想を持つ朝鮮人でさへ

▲婦人の價値 を自認して居る、その一例を擧げると一宣教師が東大門外を散歩して居つた時に路傍に蹲くまつて『アイゴー、アイゴー』と呼號しつゝある一鮮人に出遇ひ、何故そんなに泣き號ぶのかと尋ねると妻が死んだからだといふ、そこで宣教師がいろ／＼聞いて見ると鮮人は妻は自分の衣裳を洗濯したり食物を調理したりして呉れたが今はそんな事仕て呉れる者がないから困つたと言つたさうです家庭博覽會に活きて居る樣な人形を美麗に配列したのは他の仕方にて容易に惹起す事の出來ぬ感想を人に與へるものであつて一番判り易いのです、學校で教授するのに最も効驗ある一の仕方は人の眼を利用するか又は其物を表示する事です如斯すれば言語を以てするよりヨリ多く明瞭に教へ込む事が出來ます此の博覽會にて強く私が感觸したのは日本人の

▲家庭的生活 に瓦斯電氣の如き近代的裝置や實用物を應用した事です普通日本人の家庭はあまり廣くなく從つて臺所として使用し得る部分も自然限があります小さき瓦斯料理ストーブ其の他の近代的裝置物は場所の儉約を爲しながら据付る事が出來ますから其仕方は實に巧妙と謂ねばなりません大なる料理ストーブは高價であり且つ場處を多く塞ぐ爲め多く人は是を利用する事が出來ないが少さな瓦斯料理ストーブを使ふのは木炭を使ふより僅かに清淨である而已ならず時間の大儉約が出來ます瓦斯會社が利益配當に苦心するが如く今少し

るならば子供はより能く生育し男も女も國家も從つて利益する事となるでありましよう夫れ故私は京城日報社で開いた家庭博覽會は唯だ娯樂又は趣味を與ふる場所たるに止まらずして國家的價値あるものなりと結論するのであります



共進會第一號館の釀造清酒陳列棚

●群山より ▲記者團來群 京城に於ける全國記者大會に出席の爲め來鮮せる記者團の内二十七名の一行は湖南沿線視察の途二十六日午後五時三分著列車にて來群の豫定にて當地協贊會主催となり同日午後七時より富士亭に於て一行の大歡迎會を開催すべく準備中なり ▲群山觀察團 群山府管内鮮人共進會視察團の一行は約二十六名にして天野府尹千々松府書記以下此れを引率し來る二十七日出發往復八日間の豫定を以て共進會其他の視察を爲さしむべしと ▲沃溝郡視察團 沃溝郡廳管内鮮人共進會視察團は人員未定なるも來る二十七日出發往復五日間の豫定にて共進會其他の視察を爲さしむと

…んと青島に赴きしも思はしき事なきより四月下旬悄々内地に舞戻りたるが歸途船中にて青島にて儲かるものは賣藥位なるべしとの船客の談に彼の上熊本縣大江村賣藥製造業田邊榮に賴み五月中旬迄に仁丹十錢包一萬個出來せるを自身青島に行商せしが…丹發見せられ此の旨熊本署に照會し來りし結果此の程同人を逮捕すると同時に阪木封裝僞造仁丹僞造印形等…

●奉天情信

連山灣の近況＝間島問題と支那＝内蒙の奇寒

▲連山灣の現況 連山灣築港は一時強烈なる刺激を我國人に與へ或る一部人士は同築港完成の上は甚大の影響を我大連貿易に及ぼす可きを憂慮せしが其後工事は豫想の如くに進捗せず我邦人は何時となく之れを忘れつゝありしに昨秋莫奉天教育司長が同總辦に轉任せしより爾來之れが記憶を新にするに到りたるが今同港に就き最近實査する所に據れば同工事は未だ言ふにも觀るにも足る者なく支那政府は半途に之れを委棄せしにあらずやと疑はるゝ程なり肝腎の防波堤の竣成せしは二百尺にも滿たずして繫船棧橋の形跡すらなければ元より入港船ある筈なし在住者とては築港事務局、警察署、守備隊あるのみにて商人等は一人も在留せず技師長ヒース氏も營口に轉住せり五六の堂々たる石造洋風家屋あるが此等は皆事務局警察署守備隊の住居となれり鐵道は京奉線の連山驛より港頭まで完全の分岐線貫通せるも多く破損して汽車を通せず食料品等は同驛よりトロにて運搬し居れり目下同地支那官憲は他國人の來觀を峻拒するの風あり是れ或は同港を將來軍港となすの意志あるに非ずやと疑はるゝも同港の地形たる元より軍港に適すべくもあらず若し之れを完全なる商港となさんには更に巨額の經費を要す可くして支那目下の財政の許さゞる處に非ざれば同港が萬一大連の競爭港たるの日ありとするもそは一朝一夕の事にあらざる可しと

▲間島問題と支那 間島問題は既報の如く目下北京に於て交渉中にて頗る解決難なるが如きが之れに對する支那側主張の要領を聞くに日本政府と協約を締結せり此協約は今年新締の日支條約に依りて變改あるを許さず新條約第八條に本條約に別に規定ある者を除くの外一切舊約に依り準照して辦理すとの語あれば前締の間島協約は當然有效なり故に間島在住の朝鮮人は若し訴訟事件ある時は協約に據りて當然中國官廳の審判に歸し南滿住居の日本人と同樣なる各項特權及び裁判新例を享有し能はざる可きは明白の事理なり且つ法律の原則として特別條約は一般條約に優る日支新約は一般條約にして間島協約は特別條約なり世に一般條約の實施を以て特別條約の效力を廢棄するの理なし然るに日本政府が間島の滿洲の一部たる事は該協約成立時に確定せりとなし日支新約第五條の規定を適用して間島在住の朝鮮人は新約實施以後は南滿在住日本人同樣に土地の訴訟に關する者の外中國の法律に服從するの義務なしと主張するは強詞奪理の甚だしきなり云々

▲交渉局增設案 支那政府は日支新約實行後に於ける東省の形勢に鑑み奉天吉林兩省に交渉局增設の議あり其内容は各局に督辦(勅任)一人を置く督辦は外交部に直隷し併せて該省行政長官の指揮監督を受けて該省の交渉一切を管掌す可し該案は目下法制局にて審議中なりと

▲吉長總辦辭職 吉長鐵路總辦處恩氏は過般來屢々辭表を呈出せしも交通部の爲めに抑留せられしが今度愈々退任を許可され該公司總務課長敵柏林氏代理する事となれり

▲内蒙古の奇寒 張家口よりの報に據れば一週日前内蒙古地方は天氣俄かに寒くして降雪一晝夜に渉り路上の行人全く斷えたり

入院隨意 京城南大門通三丁目(藤木商店横入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

前入港弘濟丸 (一等十三名)…

商況

東京株式特電

二十五日	前場寄付	大引
日本郵船	九〇、九〇	九一、〇〇
日韓瓦斯	……	……
鐘淵紡績	一一七、七〇	一一七、八〇
同上新株	九三、四〇	九三、五〇
日本麥酒	……	……
東株第一	一四九、五〇	一四九、五〇
東株第二	一四九、五〇	一四九、五〇
東新第一	一二四、四〇	一二四、四〇
東新第二	一二四、一〇	一二四、〇〇

東京期米特電

二十五日前場	十一月限	後場
寄付	一一、三〇	……
高値	一一、七八	……
安値	一一、三〇	……
止め	一一、六四	……

東京債券現物特電

二十五日出來値段		前日との比較
東洋拓殖	……	
日韓瓦斯	……	
朝鮮銀行	……	
朝鮮瓦斯	……	
南滿鐵道	二四三、五〇	

深川在米特電

二十五日現在高	
朝鮮米	五三、二三一
臺灣米	六二、〇五七
内地米	一七七四、〇六七

東京公債直取引特電

二十五日出來値段		前日との比較
五分特別	九五、一〇	
五分津發	……	
一回四分	八〇、〇〇	
二回四分	七九、一〇	
五回分	九四、一〇	

大阪三品特電

二十五日前場	寄付	大引
九月限	一一二、九〇	一一三、五〇
十月限	一一三、八〇	一一四、一〇
十一月限	一一五、八〇	一一五、八〇
十二月限	一一六、八〇	一一六、七〇
一月限	一一七、五〇	一一七、五〇
二月限	一一九、四〇	一一九、二〇

大阪株式特電

種類	拂込額	二十五日前場止値	同日後場止値
宇治川水	五〇、〇〇	五三、三〇	……
神戸電鐵	五〇、〇〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	四八、七〇	……
和歌山紡	二七、五〇	……	……
合同紡績	三〇、〇〇	五〇、八〇	……
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一一八、〇〇	……
同上新式	三七、五〇	九三、二〇	……
東洋製糖	三七、五〇	六四、一〇	……
大阪商船	五〇、〇〇	六五、二〇	……
日本郵船	五〇、〇〇	九〇、七〇	……
大阪米穀	五〇、〇〇	……	……
東京新株	二二、五〇	一二四、二〇	……
大阪株式	五〇、〇〇	一四三、〇〇	……

大阪期米特電

二十五日前場	
當限寄付	一一〇、七二
中限寄付	一一〇、二〇
先限寄付	一一、四〇
止め	……

下關期米特電

二十五日前場		
寄附	一〇、九五	一一、二〇
高値	一〇、九六	一一、二〇
安値	一〇、九五	一一、二〇
止め	一〇、九五	一一、二〇

雜報

原棉益々高し

日七十五錢の反動高を示せる米棉は十二日の立會に於いて場面又た總買ひと化し一圓てふ最近稀に觀る…内地に於ては…地方の近く…米棉高の影響を受け…殆んど手持の品切れに向ひて…

下關相場

▲朝鮮米は不勢 目下の手持米は何れも高値摑みの事とて餘り安くは手放し難たる風情なるも…地期正米の暴落に連れ…

▲小豆は狂はず 本品は依然當用口…

▲大豆は變らず 其後肥後産二百七十俵釜山新夏物百叺外に小島商店へ…

●松茸は暴騰

…昨來の降雨に更に著荷を激減せしめ…

●小賣白米値下

來下殘ぶりつゝありし小賣白米も…

五厘方の値下

尙相當の値開

●鷄卵ヂリ安

更に五錢安

●利尻昆布の初荷

新昆布は過般多少搾太物の移入ありし…

約五噸の著荷

十六圓內外

(廣告) 田中金次郎 仁川相生町三丁目 電話五六二八番 一五二番

●精白協定破る

十一圓九十錢處迄

十一圓より安

額を生ずる四五厘の差

協定を破解

南大門の廻米

△朝鮮一等白米(當用)		十二圓七十錢
△同二等白米(當用)		十二圓八十錢
△同		十二圓四十錢
△同		十二圓五十錢
△背大豆		九圓三十錢
△肥後新大豆上品		九圓八十錢
△釜山新夏大豆		九圓四十錢
△同		九圓三十錢
△元山大豆並品		九圓二十錢
△長湍大豆		九圓二十錢
△端川赤背大豆		十圓二十錢

仁川現物市場

二十三日分 島山白米二六叺 天安白米五五叺 … 小非里白一七九叺 平澤…七八叺 … 二十五日分 天安…

生魚市場

仁川期米

▲二十五日前場

三節臨時 七十六錢と大反撥

入電 大阪六節八

十四錢と高移

(廣告) 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店

市場零聞

△前場の商戰

△前場大反撥 八圓七十九錢に寄付

人氣一變

餘り急激の立直り

脫線

仁川米豆取引所

廿五日の十一月限

△果して底入乎

依然大跳返

大阪との鞘忽ち擴

大に三圓內外

前場	寄附	止め	高直	安直	出來高
一節	八圓七十九錢				
二節	八圓八十四錢				
三節	八圓八十七錢				
四節	八圓八十七錢				
五節	八圓七十五錢				

平均値段	九月限	十月限	十一月限
取組高	千四百石	七千百五十石	三萬四千石

北濱だより

▲宇治電

前日比較		
寄附	八、七四	五高
止め	八、六六	一八高
高値	八、七四	一三高
安値	八、六六	一一高

青物だより

日々の出荷は極めて豐富なる…

小賣白米

一等白米 十二錢五厘 次白米 十二錢

白米標準値

十二圓三十錢

洋蠟 機械油 製造 發動機油 動植物油 販賣 仁川松阪町二丁目 朝鮮鯨油組合 電話三一四番

外勤社員五名招聘 志望者は履歴書送れ、面談日追て通知す 京城黄金町二丁目 有隣生命保險株式會社朝鮮支部

攝津灘 大塚釀造所吟製 京城本町四丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四三五

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八二二番

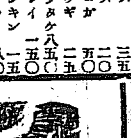
醫化學器械一式 藥種賣藥卸商 仁川本町 京城本町 永樂町角 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番 北島藥店支店 電話七六一番

小兒科 内科 專門 京城旭町三丁目(元十全病院跡) 若槻醫院 電話二四六二番 ドクトルメヂチーネ 若槻覺隆

特許機械製 高等ほまれ味噌 特約發賣元 京城黄金町 三巴商會 電話三八著 京城南大門外 大三商會 電話一二〇番

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四二番 入院隨意 普通病室並隔離病室 院長 醫學博士 古城憲治 尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(毎日五名を限り無料施療す)

高尚なる家庭の趣味として輕便なる寫眞機を與樣方やお孃樣方にお勸め致します 寫眞機並材料商 京城明治二丁目 長崎屋商店 電話二二〇番

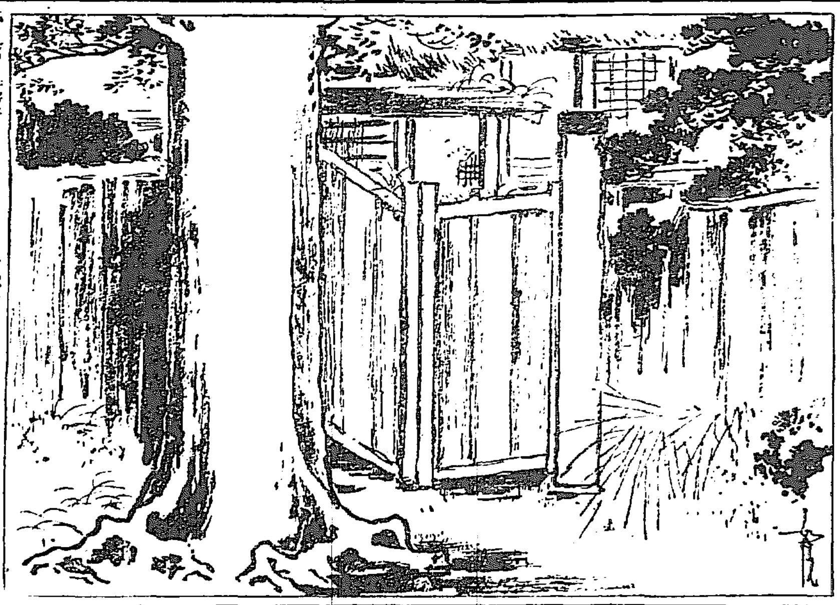


大岡政談 越後傳吉

第百六十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

荻生徂徠先生も不思議な事を越前守殿が訊くと思つた 越『定めし親類縁者も澤山ござらうな』 徂『左樣でございます、可成澤山でございます、併し世には樣々の憂事がございますもので彼等の仲間にも流行病がございます』 越『ハ、ア流行病……』 徂『近來はペストが流行りまして是がために彼等も酷く惱みました』 越『何だいそのペストといふのは』 徂『どうも餘程難つたやうで價五錢と定られましたが是も直に立消になつたやうで是が鼠の嫁入にはモウ恐ごく心配をいたしまして、どうか嫁入の日を定め、なるたけ人に見られぬやうに見られるとやられますから……』 越『アハ、、イヤどうも惣右衛門殿、其許は大學者、當意即妙の答辯に感服いたしてござる、さて〳〵學才といふものは又別段、充分に學問があつても其答へに苦しむ者がある、考へて初めて其答へをする、其許は尋ねるまゝに其返答の速なること書物を讀むが如く、實に廣大無邊なる學才、餘の人の遠く及ぶ所にあらず就ては今度將軍家の上意により支那より渡來いたしたる六諭衍義といふ書物之を抄譯いたすため學才の人を尋ねると雖ども其許に勝る學者はあるまじと存ずる、急ぎ飜譯いたされ將軍家へ獻上いたされて然るべく』 徂徠先生ニツコリ笑つて 徂『何御用かと心得たるに右樣の御意、不肖惣右衛門に對し御付けられ忝けなき仕合せ』と越前守より右の書物を受取つて三日の間に飜譯いたして、八代將軍家へ獻上いたしました、吉宗公御覽あつて御感あり徂徠は學才の者なりとの上意がございました荻生徂徠は其以前茅場町楓木店に居りまして隣家が俳諧師の其角の住居、されば晋子の句にも『梅ケ香や隣りは荻生惣右衛門』といふのがある。其頃徂徠先生自宅に於て程朱の學を講じます、當今でいへば傍聽無料で、お茶を出してお菓子を喰はせる、けれども譯釋がむづかしいから餘まり聽衆がございません多い時でも七八人、少ない時には一人なんといふ席亭ならどうにまつてしまふ、屁婆さんが 婆『先生、此向に大道講釋があります、莨簀張りで軍の話しをして居ますが何時いつて見ても黑山のやうな人で、扇子が廻つて來ると皆な五十だ百だといつて出して居ます、先生のはお茶を出したりお菓子を出したりしてお負けに無料聞せるのにチツともお客がない馬鹿々々しいぢやアありませんか』といふと徂徠が笑つて 徂『アレハ蠅だ、蠅といふ奴は腐つたものに集る、臭い物に蠅といふ事があるではないか、大道講釋を聞いて拙者の譯釋を聞かないやうな奴は蛆虫だ』といつたさうで、大見識の徂徠先生、此人にもう一つ逸話がある、どうも節儉でございまして家なども壞れ次第でトンと搆はない、門を拵へる時に傍らに一本の榎があつたので其を方々の柱にして門を造り付けて風流な門が出來たといつて喜んで居りました、所が初めは宜つたが榎が段々生長するに從つて門が傾ツ倒しになつてしまつた、家根は洩る壁は落ちる妻君が氣を揉んで 妻『モシ貴夫』 徂『何だ』 妻『どうも大變に家が傷みました御覽の通り寢て居りまして、お太陽樣が天井の節穴から見えます』 徂『其は結構だ』 妻『結構ぢやアございません、お金がなければ仕方がございませんが、あるのに不自由な目をして居りますのは詰らない話しでどうか御修繕を願ひます』 徂『まア修繕なぞはしなくともいゝ』 妻『またあんな事を仰しやつて第一門を御覽なさいまし、風流だなんて榎を柱にしたもんでございますから榎が育つに從つて門がイビツになりましたぢやアございませんか』 徂『おれが面白いよ』 妻『チツとも面白くはございません、今日も近所の小供が門が跛足を引いて居るなんて惡口を申します、極りが惡くつて妾は近所へも出られません、家の方は宜しうございますがせめて門だけでも御直し下さいましお金がなければ據所ございませんが御內福でおいでゝすから』 徂『どうもお前からして內福だなんといつては困る、それぢやア仕方がない修繕をする事にしよう』



○『英雄崇拜號』出づ 近頃滿洲日日發兌なる…代へて內容の充實を計つてゐる『英雄崇拜號』と銘打つて堂々六百餘頁と云ふ形大なものを發行した內容は普通雜誌に事は云ふ迄もなく全冊六〇〇頁凡て英雄的記事を滿載してゐる天下青年士の一讀すべきものである

○大日本國民中學會の新學期 多年の努力と効を奏して通信教授界の覇王を以て天下に許さるゝ同會は第二十四回の新學期を開講し會員募集に著手せり同會の斯く社會の信用を博せるは講義の懇切平明を極め而て何人の講讀にも便なると共に其の組織の教育的にして卒業生の立身に便なる爲めにもよる可し現に同會卒業生中同會の資格によつて高等の學校に入學し今は一廉の地位を占めつゝある人少なからざる由也中學校又は中學程度の學校に入ること能はざる事情の人は速に同會に入りて完全に中等教育を獨習し以て文運の進步に遅れず他日の成功を期せざる可らず目下新學期開講前とて獎學資金贈呈その他各種の大特典あり此際の入會最も便なる可く詳細の規則書は同會（東京神田駿河臺）に申込み次第無料進呈を受く可し

演藝案内

壽町 電話一〇五〇 壽館
▲本月十八日より京義太夫御前披露の榮を辱ふしたる斯界の女傑娘義太夫竹本燕糸一座十二名（竹本小燕竹本梅香竹本燕之助同燕吉同…外）▲當座は共進會期中に付特に東京大人氣興行中のものを相勤め仕り候間初日開演と共に御來館の程只管希願上候也

櫻井町 電話八七三番 大正館
▲當る九月廿三日より臨時特別大興行 南洋ジヤバの風景及び風俗 ▲滑稽八百長の卷 ▲喜劇チヤンピオン競爭 ◉新…

本町 電話一六六 新築落成 有樂館
當る九月廿日より當館日活特選の大寫眞提供 ◯實寫バテー時事畫報 ◎悲劇『婦人の密告』全 ◎探偵奇譚『闇夜の鳥』全二卷 ▲伊太利チネス會社傑作◎大悲劇『ボツプスの惡魔』▲日活會社最近の大傑作尾上松之助大一座出演◎舊劇『坂田金…』 [illegible]

龍山 佐久良座
大阪若手歌舞伎俳優大一座
◉九日目狂言
▲前 浪花俠客『野晒五助』三幕
▲中『老母政岡』一まく
▲切『稲本大功記』
▲入場料 特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等卅錢 ▲每日午後二時開幕仕候

御成町 電話二九一 御成座
◉十四日目 喜劇『無花果』全九場 『石川五右衛門』全二場 男が野バンか 百年之仇 全十場
▲登場人名 伊井美太郎、石黒史郎、桂木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉田鶴、酒井隆之介、富士正宗、澤野鐵之助、酒田君夫、池紫一、清川二郎、川一志、日野萬兵衛、小役木田絹子

黃金町 電話一四三四 世界館
當る九月二十日より ▲松旭齋天洋師出演 ▲世界的大魔術 ▲共進會特別興行 ▼每日午後七時開場 土曜、日曜は正午開演

初日以來連夜滿員
日本三大仇討の一 伊賀上野の仇討 荒木又右衛門
日本は武士道の國 荒木又右衛門は武士道の權化也
臨時特別大興行 大正館

黃金町四丁目 電話二六三七 黃金館
九月廿四日より天然色活動寫眞… 泰西活劇『闇の鑿』… ▲南北戰爭餘談『忠魂』… ▲新派大悲劇『義理と義理』… [illegible]

明治町 電話二六〇番 浪花館
浪界之四天王名人京山若丸一行來る
◉今晩の讀物 春日野若子 故伊藤公 井上侯 前半生（京山若丸）

派悲劇『木がらし』全八幕 ▲米國プロンマ會社作◉泰西大活劇『要塞』最長五千尺 ▲前夫の猟師に戀りたる女… ◉舊劇『伊賀上野の仇討』… 荒木又右衛門… [illegible]

上品で氣の利いた 美顔ユーマー

△容色の善惡は 生れつきで致樣の無いものか、人によつてはほんとうに美しくなれるか何うかといふ事は、婦人は固より男子方の間にも疑問の一つとなつて居りますが、例へば田舎出しの

△女中さんでも 都へ出て長く奉公してゐる中には次第々々に見違へる程綺麗になる所を見ますと、誰でも手入の工合で美しくなれる筈で御在ます。併し甚麼手入をした所で然う

△俄かに綺麗に なることいふ譯には參りません。けれども慾には一飛に美しく成度いのが人情で、何か、顏へ附けると直ぐお化粧でもしたやうに美しくなるものは無いだらうかと

△自然の情から 要求なさる、其要求を如何にもして充し度いものと、先年來熱心に研究を始めたのが桃谷研究試驗部顧問二博士の下の三藥學士で、先づ歐米での有名な化粧品を

△片つぱしから 分析研究し、あらゆる實驗と最新の學理とによつて漸う完成致しましたのが今上流中流方御家庭の間に非常な人氣にたつてゐる美顏ユーマーです。此品こそ彼の

△一飛に美しく 見せ度いといふ方のお化粧料として此上も無い適當品で、朝使へば一日中顏色を活々と美しく保ち續けて使へば顏の地から美しくする作用が強く、お安で能る

△手輕な美顏術 として是程有効なものは御在ません。現に東京巴里院長、佛國女流美顏術大家マリールウキス孃は、現今東京美顏術界の大立物として宮家を始め奉つり、華族方

△一流の紳士方 の御家庭へ召されて美顏術を行はれる際、この美顏ユーマーを美顏術に應用されて、實に理想に適つた立派な効果のあることを實驗せられて非常に喜ばれ、是は

△全く珍しい品 であることて引續き用ひて居られます。此品は或特種の植物性の粘液作用で前申した通り、朝洗面後に少量手掌に滴してお顏に塗け、輕く擦つて置く樣になされば

△一日中活々こ 美しさを保ち、男子のかくし化粧にも適し、殊に膚の荒を防いで肌理を美くする力が強く、又白粉の溶水や白粉下白粉おさへ等に使へば白粉に極めて美しい艶が出てヽノリやノビも思ふ位になり

△幾段も化粧美 を增し、且つ化粧くづれを防ぐ等實に理想的新化粧料で御在ます。定價一瓶二十錢、試して決して御損の無い事を斷言致ます。信川ある化粧品店に御座います。」

2575,224

京染 染料暴騰以前見越買込有ること故染代値上せず從來同値段以て堅牢迅速に染上候
京都市柳馬場五條北入 ●特約取引專業 福田庄兵衛商店

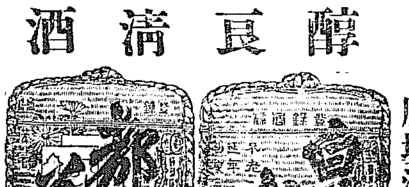
特約店募集
全國各市町村に亘り一名の特約店を募集す藥店雜貨店書籍店新聞店等の副業に適す一度骨折れば毎月繼續して一定の利益を得べし（照會二錢封入を要す）
東京九の內 合資會社每日通信出版部

大典 書報 無代進呈
意匠登錄 奉祝旗と日章旗 新モス製 送費共各錦券卅五錢
日章旗と交叉し祝意を表されん事を希望す御買求の方に書報進呈す
◉大阪上大和橋西詰北 小林京染店

てんかん 癲癇神經病 で困る方切手三錢送れ永年の難症も自宅で治す秘密治療の詳細を知らす
◉名古屋市南小川町東側 救生舘

りん病 淋病 で困る方多年の慢性も自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

胃病新藥 マーゲン 胃病快治法無料進呈
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪上本町 田畑保藥房



醇良清酒
釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎
特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 明治屋支店

登錄商標 瓢水味淋
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

▲夏を健康で越たき人 今から次亞燐を召上れ
▲効は牛乳の數倍！腐敗の憂ひなく最も安心
◉各藥店にあり
▲定價五十錢九十錢一圓五十錢
大阪…小西久兵衛

內科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元壽學校隣） 中島醫院
院長 中島貞信 電話三七八番

七ふく ひゑ藥
本知は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし疝氣、痔疾（俗にひゑ、しつ、かさ）脚氣其他皮膚一切の諸病脚氣水腫症等によし
價 藥 中週分七ふく入 金拾五錢 壹週分十四ふく入 金參拾錢 三週分四十二ふく入 金八拾錢 五週分七十ふく入 金壹圓廿錢
本家 大阪高津表門筋松屋町西 七ふくや 伊藤長兵衛

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇〇番

婦人科 產科 入院分娩應需
京城旭町壹丁目 中央婦人病院 院主 衣笠茂 電話二三四〇番

旅館 元山 愛媛館 海岸通二丁目 電話三三番

廣告
謹啓益々御清榮の段奉大賀候每々格別の御懇情を蒙り難有奉謝上候就ては弊館義今回左記の處に支店設置開業仕候間本店同樣御引立の程伏て奉懇願候早々頓首
親切叮嚀に御取扱
京城本町二丁目 釜山荒井旅館 荒井支店

京城日報
第三版

團體觀覽に就て 引率者に望む

開會式の切迫に伴れて共進會は益々佳境に入り之に對する內外の人氣は愈々高潮に達して觀覽者の如きは開場以來未だ二週間を過ぎぬに既に二十有三萬と註せらるゝ盛況に在るは共進會當事者は素より鮮內を擧げて欣喜に堪へぬところである

這回の共進會が朝鮮第一回の共進會として殆んど理想的のものであることは夙に識者の認むる所であつて錦を朝鮮に置く治々は外に向つて大なる誇を禁じ得ないと同時に鮮內に對しては各道とも鮮民を慫慂して普く之れを觀覽せしめ、既往五箇年間に於ける新政施行の治績が如何に朝鮮を拓殖し開發したかを周知せしめ度いものと思ふ、之れに就いては各道とも既に久しい以前から其れ〳〵計畫を樹て、各郡面に觀察團を組織し、現に續々之れを繰り出して、居るは喜ばしい事であるが吾人は此上にも尚ほ一層それを奬勵して一人たりとも多數の觀覽者を得て其効果の普及に努めむことを切望する。

但し共進會見物の効果を全うせんとするには周到な注意と精細な觀察とが肝腎であることは開場以前に當つて本紙の切言した所だから諸君の耳には未だ新しいことゝ思ふが近時團體を組むで入場する鮮人側の觀覽者を見るに尚ほ多少遺憾の點を免れぬ嫌がある、由來團體見物といふものは餘程場馴れた者でも兎角遺漏の有り易いものたが殊に斯樣な見物には殆んど經驗を有たぬ鮮人達に對しては引率者若くは指導者は特種の注意と努力を拂はなくては觀察の目的を達せしめるは甚だ困難である

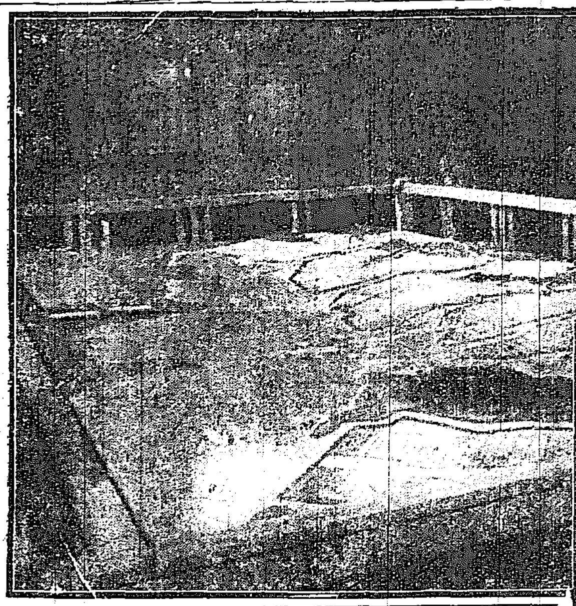
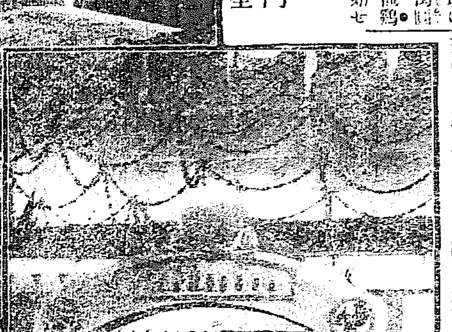
相當の秩序を立てゝ觀察させるといふ事は素より團體見物の要件だ之れと同時に引率者は其の團體に對しては視察上の概念を與へ常に之れを操縱統一しなくてはならぬといふ大責任を忘れてはならぬ、換言せば引率者は其團體に對して共進會開催の主旨と見物の目的とを徹底せしめ要を摘み粹を拔いて之れを視察させるといふ事が肝要である、這は實に團體見物の根本義であつて十人十色の人間を引率して多數の出品を比較的短時間に視察せしめ所謂お祭り的見物の弊を防ぐ第一の秘訣である此觀念が徹底してゐるなら團體者に引率者が此責任を自覺し團體者に盡したり前者が先きを急いで擠內を驅け廻つたり後者が遲れて連を失ふ樣な失態は決して無い譯である然るに團體の引率者中には短時間の所以を以て往々先きを急ぎ往々恐に觀察せんとするものを追び立てゝ居る者がある、殊に此傾向は一號館若くは審勢館の如き觀覽順路の始め設けられた最も重要な館內に著しい樣であるが之れでは見物の目的は勿論共進會共者の主旨をも滅却するものと謂はねばならぬ

七萬坪に餘る場內を仔細に見物しようとするには相當の日時を要することは無論だが一通り各館を見て廻るには六時間もあれば大丈夫で一二號館並に審勢館に各一時間を費したとするも其他を見るには尚ほ三時間の餘裕がある、先きを急ぐといふ事は見物上絕對の禁物である而已ならず一二號館並に審勢館の三館は本館は假令他館を犧牲としても引率者たるものは時間を參酌して各般の出品に就き仔細に觀覽せしめる餘裕を與へ自他の出品を對照考覈して採長短補以て各自の啓發に資せしめるとがなくてはならぬ、之れ即ち其團體に對する各自の責務であると共にまた共進會を成功せしむる所以である吾人は此點に於て團體引率者の細密なる用意と周到な注意を切望するものである

大共進會 出品概觀（十一）
第一號館（水産）
▲水産製品の發達

水產製造物の如きも亦之れに伴うて激增し或は新に製造事業を起し、或は從來捨てゝ顧みざりし廢物を利用する等今や昔日の面目は全く一新せり、例へば西海岸に於ける乾蝦、蝦醢、鹽漬海月の如きは悉く近時の創製に屬し、鹽石首魚、鹽鰮、鹽火魚、及び魚醢等は從來の產額に陪蓰するに至り又た南海岸に於ても鹽鯖、煮乾鰮、干鰮、各種海藻、罐詰等の如きは著しく其製造額を增進せるが殊に玉珧貝の採製事業は昨今の發見に拘らず共產額既に三萬圓以上に及びる漁事にして有望ならざるはなきが中にも最も喜ぶ可きは朝鮮人間に於て鰮漁業の開發に連れ開鰮、鹽鯖等の製造事業大に勃興せることにして之れ等は內地及び支那に對する輸移出額の夥しきものあり、今や有名なる乾明太魚と共に東海岸に於ける名產たらむとするの傾向を呈せり、此他二百餘坪を領せる水產部の全面積に層々相重なる限りなき出品を一覽せば其種類の如何に多樣にして又た其漁事及び之れに伴ふ製造事業が併合以來如何に長足の進步を來せるかを窺知し得可し

前途益々多望なるは世人の熟知する處なり、更に東海岸に至りては近日鰮の漁業の如き開始以來數年を出でずして疾くも年產額三十萬圓を超え鰤の漁業亦漁網、漁撈、鱈網、大敷網等をもつて盛に漁獲を爲し且つ之れを製造して館內は勿論內地に輸出して販路を擴張し一箇年數十萬圓の價格を計上するに至れり、此他鷄の如き將た私刀魚の如き新に開始せ

第一號館水産部
右、龍宮殿の正門
左、廣梁灣鹽田の模型

▲魚貝藻類の標本

本部中前述の水產製品と共に特筆すべきは魚、貝、藻、類の標本として可きは之れを剝製となし、或はホルマン、アルコール漬となし、又は乾燥して齊寄界の標本に製取りたる一齊にして東、南、西の三區に分別し秩序正しく陳列せるは之れを教育上より見るも將た當業者の參考材料として觀察するも共神益を與ふること決して鮮少ならざる可く、朝鮮沿海に於ける水族を羅致せる點に於ては實に空前の事業なりと謂ひつ可し、殊に京城府戶田直次郎氏の出品に係る剝製の鑄魚は漢江に於て漁りたるものゝ由なるが之れに由りて同魚は露西亞の特產にあらざるを證すると共に朝鮮沿海が寒暖二流の水族を網羅して如何に多樣なるかを覺り得可く其他の珍獸、奇魚並に各種の貝藻類も亦一見推奬に値するもの尠なからず

避暑漫筆
大谷光瑞

十三、燈火（承前）

蠟火は油火に比し一般に光强し而も煤烟少なし近時礦物性油脂の用ひらるゝや殆んど世界を風靡せり支那も唐宋の頃より知らざるに非らず之を蒙羨とし別に採取の方法を講せず時に南洋諸島より船載するありと雖も其方奇物の名の下に葬り去れり陝北甘肅省產すと雖も土人の附近に於ける使用に過ぎず而も之に接するや怪物の如く疳懼しつゝ之を用ひしが如し近時北米の油田とカウカスの油田は殆ど全世界に灯火を供給し之に加ふるに蘭領東印度又瑪に列するに至れり猶莫大の油田にして未だ人の手に觸ざるはペルシャの西部とビルマと支那陝西甘肅四川に存するが如し我邦亦少許を產す是礦物なりと雖も或は云ふ上古の動植物の油脂の變せるものなりと然れども學者猶克く確說を樹つる能はず之と競ふは煤烟を燃燒するにあり之一新機軸なりとす即ち石炭を燃燒し煤烟を蓄へ之を燃す瓦斯灯是なり然れども煤烟と空氣を汚毒するを以て未賞稱するに足らず後動植礦物の油脂以外に灯火を求めたるは電氣なりとす紫電一閃晴夜忽明晝を欺く是れ天空に油脂を燃燒せるに非らず全く別箇の光なりとす之を以て燈火に充つるを電氣燈と云ふ光明淸白にして焰なく烟なし最も人身に可なり故に文明殿宮の都市より山間僻地に至るまで滔々此を以て油脂を驅逐せり此に於て礦油瓦斯及別箇の新機軸を出さざるべからず礦油は先之を熱し液體を氣化せしめ次ぎに三十餘倍の空氣を加へ之を石灰化せる植物纖維の間に燃燒す其明電燈に等しく其費之の半に及ばず瓦斯又別箇の新灯を作り別にアセチリンと名くる化合物の瓦斯を以て灯火となせり同じく電燈と輸贏を爭ふに至る電燈豈獨り晏然坐して他の侵害を待んや炭素に代るに金屬線を以てし光强くして費微なり猶百尺竿頭一步を進め眞空中に少分の窒素を加へたる强光にして最低費の灯球を作れり製造者云ふ一燭光時半ワットに過ぎず故に半ワット球の稱あり若し其れ電動力を生ずる費極少にして他に超ゆるの便あらば灯火の低廉なる昔日に過ぎざるべし現時の灯火は之を以て植物油脂を燃燒せし時の十分の一に至便至廉となすも數十年の後は或は高價に感ずるやも知るべからず猶水銀蒸氣中に電光を放つあるも未だ價貴くして一般の用に供し難し實に別箇の灯火を他日に求むる機なきに非ず油脂蠟燭より變じて電光となり電光又變じて果して那邊に行んとするや人の天然を奪ふや水の涯を暗むが如し之を崩さすんば止まず然れども光を日月と爭ふに至ては前途猶遼遠にして恐は功を期し難からん晉抱朴子葛洪曰「庭燎揩舉不及羲和之末景」と現代に於ては此說猶九鼎太呂の如し動すべからざるなり（此項完）（於大連）

停雲會詩集

雁南飛　抑飛　撫松

萬里秋風雁南飛。一行一字横斜暉。一聲遠於一聲遠。細細細去入雲微。細細欲維維難往。影沒唯認雲外樹。昔聞瀟湘夜月舷。曾泊洞北巫峽渡。秋南春北自有期。年年悲起遊子悲。夜雨濡濕體毛重。曉風捲雲飛遲遲。遲遲低迷畏繒繳。却羨棲頭安燕雀。接翼連行搏蒼瀛。魂魄海天魚龍躍。明朝度闕餘幾群。那邊宿蒲叫月痕。江湖到處使俯瘦。復掠得凌雲策。無羽無翼奈此身。只有寸心如鐵石。且莫棲遲秋嶺陽。翔過九州又七洋（七島洋在九州之南）緲緲無處盧常綠。此是南海一仙郷。

之亭曰托意高鴻、

京城に入りて
須藤鮭川

○秋風の身にしむ朝アカシヤの並木大路を漢陽に入る
○聳え立つ南大門を仰ぎつゝ涙こぼしぬ秋のゆふぐれ
○給の如くうしろの山に聳立ちて景福宮の朝ぞけだかき
○一人たゞふところ手して漢江のほとりに立てば秋の風吹く
○漢江を下る小舟に棹を取る白衣の人を秋風ぞ吹く

朝鮮始政五年記念の物產共進會を觀覽して　鹽島鶴城
まつりごと始めて僅か五年に國のすがたも改まりけり

大屋鐵道局長官の夜會に臨み朝鮮の鐵道が一千哩餘に達したる由長官より聽きて
くろがねの道に開けてこき人も國の惠みにうるほへる哉

年中無休刊
（大祭日翌日休刊）
發行編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 [illegible]
太平通一丁目
發行所 京城日報社

大阪三品（二十五日後場）
大阪期米特電（廿五日）
▲後場 當限寄付十一圓十錢△中限寄付十一圓二十錢△先限寄付十一圓五十九錢
仁川米豆取引所
▲廿五日後場
▲反撥の反動 前場大阪十一圓八十八錢と大反撥を演じたるも勝誇れる軟弱の何
二十五日の十一月限
賣買取組高

公示催告
京城府大平通一丁目四十七番地
申立人 合資會社京城日報社
一日本郵船會社發行船貨證券 一通
但シ證券番號カ別ノ一號荷印不二竹白紙十個才數百三十一才荷出主北海道小樽港富士製紙株式會社荷受主京城府大和町一丁目百三十六番京城日報社明治四十四年五月十日第一次神海丸積小樽港出帆京城行
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニヨリ其所持人ハ大正五年四月八日午前十時迄ニ當法院ニ其權利ヲ届出テ且右證券ヲ提出ス可シ若期日マテニ届出及提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣告スルコトアルヘシ
大正四年九月廿五日
京城地方法院

告 全鮮帝國在鄉軍人分會
閑院宮殿下九月二十八日午後三時五十三分龍山驛御著の御豫定爲念報す
帝國在鄉軍人會京城分會

一印刷用紙白菱四六判正五十三斤
右購買ス入札希望者ハ九月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

御大禮圖特約店大至急募集
奈良女子高等師範學校教授水木先生謹著一市二名一郡二名（先著限り）
奉祝會當日小學兒童記念頒與品（御處定送呈）見本無代（捺印）
定價大壹枚十錢小八錢（時機適當品に付直に役場學校活動を乞ふ）
京都市上京區竹屋町通富小路東へ入る 電話上一三參參 大阪振替七八七一
御大禮圖發行所 主幹 井上榮

雄辯倍號 英雄崇拜號
九月廿一日出來
▼世外老侯……伊藤痴遊
▽薄命なりし熊澤蕃山……文學士高木武
▽吉田松陰と德富蘇峰……法學士赤堀
▽晩成の二英雄……大原武夫
▽ナポレオン論……貴族院議員千頭清臣
▽比公の學生時代……海軍中將小笠原長生
▽宰相ピット……早稻田大學講師阿付[illegible]
▽ハワーデンの老雄代議士……秋穀隆
▽グ翁を憶ふ……文學士矢野龍溪
▽デモクラシーの開拓者……[illegible]
▽ガンベタを憶ふ……羅面劍俠
▽韓末此老偉人……陸軍大尉本山謙
▽戰國の人物……文學士横山健堂
▼復活せる藤村操君と語る……匿名氏
▼不平兒長島隆二君の獨尊說を聽く……一記者
▽英雄崇拜論外……醫學博士山口小太郎
▽英雄心と國民……法學士鶴見祐輔
▽英雄的氣風の振起……貴族院議員仲小路廉
▽信長と秀吉と家康……山路愛山
▽將軍家光……文學士北瀧生
▽織田信長……文學士笹川臨風
▽新聞記者としての比公……中大講師花岡敏夫
▽那翁の意志力……長瀬鳳輔
▽力行不惑のブ氏……柳下魚
▽快男兒桐野利秋……兒玉花外
▽是れ人の天性也……島田三郎
▣其他諸名士の名論卓說……見よ！見よ！誌上に聞け
▼岩野泡鳴を彈劾す……淸水柳三郎
東京本郷駒込坂下 大日本雄辯會（振替東京三九三〇）定價三十五錢 郵税五錢

中央大學在外員募集
本大學講義錄の配送を受けて法律、經濟を學修する所の在外員を募集す○來十月を以て在外員學年の始期として大正五年度新講義錄を發行す志望者は此際入學するを最も便とす○在外員學則は申込次第送付す
法科講義錄
は本大學法科の學級と同じく三學年に分ち各學年共十月より新學年の初號を發行し一ケ年にて完結す○在外員は各學年を兼修し得るが故に研究の餘力あり三學年を兼修せば一ケ年を以て全科を修了し得べし○新學年の授業擔任講師は横田、立、上杉、山田、松本、遠藤博士を始め二十餘名の各科專攻者たり
經濟科講義錄
は本大學經濟科の講義を編纂したるものにして經濟科の學級と同じく三學年に分ち各學年共來十月より初號を發行し一ケ年にて完結す○本講義錄掲載科目は經濟學、貨幣論、信用論、銀行論、交通政策、商業政策、工業政策、社會政策、殖民政策、財政學、統計學、簿記學、民法、商法、憲法、行政法、國際法、經濟地理、商業史等にして最新學派の系統に依り整然たる分類の下に微を擧げ細に入て經濟學の全部を說述し實に斯界の獨步たり
大正四年九月
東京神田區錦町 中央大學

◉保險案內の御請求を乞ふ
太平生命保險株式會社
京城支部（京城黃金町二丁目）
電話一四二〇番

辯護士 武知彌三郎先生著（クロース綴函入 正菊版七百餘頁）正價一圓三十錢 送料金十二錢
改版
諸貸金取立法と貸倒れ復活策
本書七百五十萬字は一字一句直に應用し實行し得る千金の文字のみ
本書の內容は、諸貸金取立の秘訣、賣掛代金を迅速に取る秘術手段、小口貸金及び地方貸金の取立妙法、貸倒れに瀕した貸金及び古い貸を活して取る法、不拂の證文の處置法、不渡り約束手形小切手の處分策、債權の讓渡轉賣と取立委任の方法、諸訴訟强制執行支拂命令諸申請の書式及び手續、迅速を要する法律手續、諸契約證貸借證の諸式及び心得等を非常に解り易く婦人子供にても讀み得るやう說かれたるのみならず、あらゆる契約法律事件の起りたる時に活きて働くやうに巨細に亘りて說き進められたもので今まで類例の無い一大快著である
發兌 東京市京橋南鍛冶町 振替東京二四八〇〇 榮文館
賣捌 大阪屋號、日韓書房、巖松堂、其他全國書林

◎尾崎法相奏上

尾崎法相は二十五日正午十二時三十分參內 天皇陛下に拜謁の上所管事項並に瀆職事件豫審決定の件に就き委細伏奏する所ありたり(東京特電)

◎四艦長の任命

二十五日海軍の交迭發表ありたり其の主なる者は左の如し(東京特電)

海軍中佐 田口久盛
筑波艦長心得被仰付
海軍中佐 松村菊男
笠置艦長心得被仰付
海軍中佐 土戸次郎
補明石艦長
海軍中佐 岡田駒吉
補最上艦長

◎山屋中將會議員

廿五日左の通り辭令ありたり(東京特電)

海軍中將 山屋他人
補海軍將官會議員

◎大島次官出發

既電の如く大島陸軍次官は愈々廿六日午前八時東京驛發新師團衞戍地調査の爲め渡鮮に決定し建築技師以下數名隨從す可し(東京電報)

◎淺田大將著釜

淺田大將午後九時五十分對馬丸にて著 白水少將以下出迎へあり大池旅館に投宿二泊の豫定にて檢閲及び視察を爲す由(釜山特電)

◎泊中尉任命

廿五日左の通り發表ありたり(東京特電)

陸軍憲兵中尉 泊定吉
任總督府警視

◎荒井長官忠州發

支部長官は淸州の金融組合理事會に臨席して一場の訓示をなし物產陳列場視察後午後二時發五時忠州著佐々木二部長櫻井警務部長と共に官民の歡迎會に臨席し二十六日午後太田に向け出發の筈(忠州特電)

◎御召艦御通過

東京發別電

御渡鮮の閑院宮殿下は二十四日神戸より御召艦常盤に御乘艦に相成り同夜十時阿波島附近無事御通過の旨無線電信にて通報ありたり

◎殿下へ獻上の爵

此回 閑院宮殿下御渡鮮の際仁川府廳にては爵を獻上する事と豫てより李王職美術品製作所に注文なし二十四日出來上り仁川府廳に到著せしが該爵は銀製の頗る美麗なるものにて價格約八十圓なり

◎御道筋の衞生

宮殿下御來鮮に付き

閑院宮同妃兩殿下の御來鮮は愈々切迫せるより警務總監部にては御通路に於ける衞生狀況視察の爲め二十四日囑託芳賀總督府醫院長及び早川軍醫正、白石經理部長等を仁川に出張せしめ衞生に關する諸般の調査を行ふと共に沿道に對して其れ〲注意を與ふる所ありたり

◎大連の歐洲貿易 戰亂の影響

十三萬五千噸に[illegible]狀態なり昨年七月ゟ本年六月迄の航行船を調査するに汽船二十七隻噸數[illegible]航して殆んど獨占の優位を保ちし獨逸汽船は全く杜絕し佛蘭西、丁抹船[illegible]百噸に過ぎざりしが爾來一年間に一隅して九隻四十五萬噸を運航するの[illegible]噸にて昨年より約四萬噸の增加なり貨物は豆油最も多く四萬噸を計上し

豆油	三五、七二四	四〇、六二五
高粱	無し	八三三
雜穀	無し	一、六七一
粗油	二二五	四五〇

[illegible]の賃金を請求し居るを居合せたる警官に見咎めらる

◎淺田大將渡鮮

陸軍々事參議官陸軍大將男爵淺田信興氏は昨廿五日釜山著朝鮮守備隊を視察の筈なるが其日程左の如し

▲廿五日午後九時四十分釜山著▲廿六日釜山滯在▲廿七日午後一時十八分大邱著▲廿八日大邱滯在▲廿九日午後九時京城著卅日大田滯在▲卅日午後九時大田著▲十月一日、二日元山滯在▲五日午後一時元山著

◎後藤男等入京

後藤新平男及び古市公威博士は十月三日開催の筈なる朝鮮鐵道一千哩祝賀會に出席の通知あり兩氏とも二十五日午後東京驛を出發したり

◎川村中將檢閲

第九師團長川村中將は廿五日富平に赴き管下部隊の射擊演習を視察し即日歸任せり

◎赤愛副長入京

日本赤十字社小澤副社長、愛國婦人會濱尾副會長等一行は二十六日午後九時南大門驛著汽車にて入京す可く大橋主幹は出迎の爲め二十五日夜南大門驛發汽車にて釜山に向へり

◎荒井長官出張

荒井度支部長官は岡田技師を隨へ煙草耕作狀況視察の爲め二十五日午前八時半南大門驛發列車にて出發忠州大田へ出張二十七日夜歸任す可し

朝鮮大共進會

十三道 陳列競べ

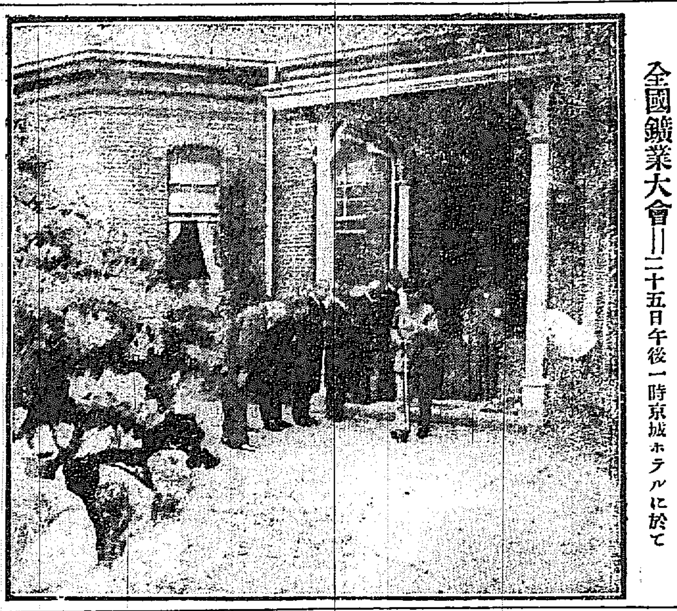
□力を入れた柞蠶製作品の山

朝鮮鑛産額の過半を占る平北

甞勢館に東の入口から入れば取つきの右側が平安北道の陳列場である、西側の陳列棚には先づ重要水產物鬪表の下に魚具だの、貨物標本だのが並べられてをる、魚膠、白魚の佃煮、鰯刀魚、鯛首魚、鰊魚、米鰕、鰕炎乾、仔蛤、それから淸川、鴨綠江の河口で盛んに行はれる五十分一の■樹網漁業の模型 もある 農業重要作物產額比較を堅一間餘の硝子張りの中に實物を詰めて下から粟、米、大豆、玉蜀黍、稗、麥の順序で產額高をその箱の中の量の多少に依つて見せたは面白い思付きである、その隣には又五箇年間の之れ等の農產物の對照表がある、次には年四十萬八千圓の產額ある大麻や林野副產物の藥草、砂蔘だの、天南星だの、蒼木だの、紫胡、白芷、桔梗等がある、林產ではキワダ、カラマツ、テフセンマツ、ヤナギ、アキニレ、テフセンシクベ、バクタルカンバ、漆林等がある

■漆は泰川郡の產 で採取期に達せるもの廿五萬七千七百八十六本、一箇年の採取漆液一千九百七石有るとのこと中央試驗所の分析表をも示してある工業品では織物、編物、鉢、硯等がある、簑邊の鐵製、象眼の精巧なる火箸、王職美術品製作所の寫眞に鬪して二枚折の屏風に平南牛牧印鑑を貼付したのも眼を惹く、この牛楔は四十五年に始め今では殆んど全道に行き渡つて居るといふ、詳しい表はその上方に掛つてゐる、

■織物の産額表こ 並んで平南の織物生產高は五十九萬三千五百八十圓で內綿織物が二十八萬三千三十一圓、麻が二十三萬五千九百三十二圓、絹が七萬七千四百十九圓、交織が二百十三圓である、平北



全國鑛業大會 二十五日午後一時京城ホテルに於て

養蜂の陳列は大きな蜂の模型で注意を喚起して置いてその下に蜜と蜜蠟の實物を置いてある、その產額は蜜が年十七萬五千六百十六斤、蠟が一萬六千九十二斤、就中最も平北の陳列中力を致してゐるのは此道で全力を擧げて

■奬勵してゐる 柞蠶である 北側全面は總て養蠶と柞蠶の爲めに費され然も大部は柞蠶事業の諸品が之れを滿してゐる、柞蠶の害敵威嚇銃を並べて境を作り柞蠶絲で作られた蝙蝠傘、丸帶、ネクタイ、肩掛、網、兵兒帶、片側帶、靴下、風呂敷、御召、絝地、ハンカチーフ等で

■一面に飾られて 居る、彼方には繭の模擬山で在來種、內地種交換狀況を示し、柞蠶經過の標本を實物で見せ尙ほその糸の原絲から染められたもの廢物利用の裝飾モールまで添へてある柞蠶製作品の支那からの輸入を擊退しようとしてゐる意氣込みの程が視はれる前面には平北國境附近の地理模型と平北道ののかが置かれてゐる、國境の向ふ滿洲に於ける各縣の支那人、朝鮮人の人口を一々示したのも親切な行り方だ、

■鑛物を模擬山に したもの 鑛物は朝鮮全道の產額の過半を平北で有つてゐるのでその總額年四百三十一萬餘に達してゐる、此模擬山は一々實物をはめてそれに數字が附けてある、曰、金四百二十三萬六千九百圓、銀二萬五千六百二十四圓、銅千四百七十七圓、黑鉛二萬七千二百四十三圓、その他七千六百四十四圓

◎鑛業大會(第一日) 寺內總督の臨場

在鮮內外鑛業家聯合懇話會は二十五日午後一時より京城ホテルに於て開會せり來會者は寺內總督初め內外人二百餘名にして村田鑛務課長會長として開會の辭を述べ總督は來賓として別項の如き祝辭を述べ終て總督退場引續き總督府技師川崎繁太郎氏の『朝鮮の地質及び鑛床』工學士飯島純介氏の『朝鮮に於ける金鑛業』に就て』等の講演あり午後四時半大會の第一日を終りたり尙ほ二十六日は午前九時より十二時迄同所に於て細井技師、服部博士、和田維四郎氏等の講演あり午後六時よりは朝鮮ホテルに於て宴會を催す可しと當日出席の主なる來賓左の如し

寺內總督、白井武官、大藤副官、秋山參事官、福岡工科大學教授工學博士末廣忠介、大阪亞鉛會社技師長辻元謙之助、古河鑛山會社技師福地信吉、農商務技師細井岩彌、東京理科大學教授理學博士神保小虎、淺野鑛業所技師長前川益次、撫順炭坑長工學博士米倉淸族、滿鐵地質調査所長木下忠太郎、和田維四郎、工學博士平賀義美、製鐵所次長工學博士服部漸、旅順工科學堂教授川合平太郎、高田商會理事廣田理太郎、三菱會社鑛山部長工學博士原田鎮治、三菱會社技師堀悌三郎、工學博士横堀治三郎、京都工科大學教授工學博士渡邊渡、福岡工業家中野德次郞、日本石油會社技師松澤傳太郞、福岡縣鑛業家堀三太郎、日下部卅二郎、小藤文次郎、藤田鑛業課長堀田正一

▲寺內總督祝辭

鑛業者懇話會席上寺內總督の祝詞左の如し

鑛業の盛衰は國富の消長に至大の關係を有す、我朝鮮は幸にして天與の鑛物に富み山貨實に無盡藏と稱せらる今や內外鑛業家各位の拮据勵勉に依て一歲の鑛產額一千萬圓以上に達せしと雖も而も之が開掘は未だ幼稚の域を脫せずして富源倘所在に多し此時に方り恰も始政五年記念朝鮮物產共進會の開催あり、各位は之を機として斯業關係者の懇話會を開き、實地の經驗と學理の造詣とに富める諸名家を請し其の蘊蓄せる卓說を傾聽し以て朝鮮鑛業の發展に資せらる其利益の普被する所延て我帝國の富力を增進せんとす、庶幾くは此機會に於て斯業百年の長計を講じ、眼前細鉄の利に趨らず、健實に經營の方法を硏究し以て國家に貢献せられむことを、本總督は各位の此美擧を欣幸とし茲に一言の希望を叙べて前途の成功を祈る

◎鮮銀の記者招待

朝鮮銀行にては目下開催中の全國記者大會を機とし同會員全部を二十五日正午明月館に招待して午餐の饗應をなせり昌德宮拜觀後電車三臺に分乘したる一行は定刻會場に到著し階上に休憩の後導かれて三階の大食堂に入る鮮銀よりは水越木村の兩理事初め各局課長各支店出張所長總て出席し接待に努め開宴に臨んで水越理事は起ちて本日は市原總裁親しく諸君に接する筈なりしも兩三日前より微恙引籠中にて乍遺憾其意を得ず就ては不肖鮮銀行を代表して一言御挨拶致したし迚、由來惡鮮の眞相の誤まり傳へらるゝ多き際に全國操觚者諸子が相率ゐて來鮮せらるゝは洵に朝鮮の爲め欣喜に堪へず願くば博く視察して全國同胞に充分其犀利の筆を以て眞相を傳へられんことをと望み更に朝鮮銀行が創立以來滿五年を經過し業務の發展著しきものあり今や內地より滿洲に亙りて一千八百哩の範圍に本支店を維布するに至れる概略を說きて一行の健康を祝し之に對して大阪每日の春秋氏は記者團を代表して謝辭を述べ其れより長卓を圍み妓生の斡旋にて充分の歡を盡し宴終りて二階の大廣間にて妓生の舞踊數番を觀覽して三時散會せり此日鮮銀よりは朝鮮銀行五年誌並に貨幣整理に關する資料を一行に寄贈せり

◎湖南と記者團 四十二名出發

忠南、全北及び全南の各協賛會は合同の上、目下入京中なる全國記者團を招待す可く豫て案內狀を發し居たるが之れに應じて出席するは坪谷水哉氏外四十名にして一行は二十六日午前八時三十分南大門驛發列車に搭乘し太田經由同夜群山に一泊し二十七日裡里、全州を經て木浦に一泊、二十八日大田にて南北に別れ目的地に向ふ筈なるが大田及び全州にては午餐の饗應あり群山、木浦にては歡迎會を催す筈なり

◎愛婦總會準備

愛國婦人會朝鮮本部にては二十五日午後二時より委員總會を開き兩殿下奉迎送、濱尾副會長送迎、總督夫人訪問、總會案內、獻上品選定、副會長一行歡迎會並に總會準備に關する種々の件を協議し午後六時散會したり

◎大浦氏不起訴理由

二十五日司法省發表

前內務大臣大浦兼武氏に對する刑事事件は左の理由に依り起訴せざることに決せり

▲第一事件 本件は村野常右衞門氏の告發に係るものにして其事實の要領下の如し、大浦兼武氏は大正四年二月衆議院議員選擧の際丸龜市に於ける候補者白川友一氏の當選を容易ならしむる爲反對候補者加治壽衞吉氏に候補を斷念せしめ又丸龜市の有權者に推薦狀を發したる事實あり而して其の以前白川氏が大浦氏と會見したる際大浦氏は同所屬候補者より運動費補給の要求ありたるも是に應ずべき資金乏しくして意の如くならずとの嘆聲を洩らしたることあるより白川氏は同年一月下旬大正俱樂部員の爲めに運動費を支出し大浦氏の手を經て寄附したき旨申出でたり而して二月下旬に至り前衆議院書記官長林田龜太郎氏は大浦氏の意を享け白川氏に前日の申出を履行せんことを促したるを以て茲に白川氏は支配人坂本和吉氏をして金一萬圓を林田氏に送附せしめ大正俱樂部員に分配方を大浦氏に依託したるより氏は林田氏をして是が措置をなさしめたるものにして其事實明白なるも大浦氏が右金一萬圓を受けたるは白川氏の爲めになしたる選擧運動の報酬として收受したるものと認むべき證據充分ならざるを以て本件は是を不起訴處分に附したり

▲第二事件 本件事實は林田氏等に對する豫審終結に示すが如く大浦氏は政友會不平議員を誘致し議會に於ける重要政府案の通過を圖るべしとの林田氏の提議に基き此際一擧して政友會の多數を打破し以て其最初の政策を實行せんとの念慮より資金を林田氏及び板倉中氏に交附したるものにして其行爲たるや政策の實施遂行に急なるの餘り內閣の方針に悖り其の手段を誤りたるものにして毫も私利を營み私慾を滿さんとしたるものにあらず而して大浦氏は其責任を自覺し凡ての公職を辭し有爵者たる地位を退き深く謹愼の實を示したり故に上述の行爲が贈賄罪を構成すと雖も其犯情恕諒すべきものあると爾後謹愼悔悟の狀情に見て處罰の必要なしと認め起訴猶豫處分を爲したり(東京特電)

◎出品物賣約規則

共進會にては二十七日より愈々出品物賣約を爲すことゝなり右規則は二十七日公報にて發表すべしと

◎愛婦總會打合

二十五日午後二時頃より京城南山町愛國婦人會事務所に於て井口、檜垣、國分、芳賀、持地、森安、弓削、古城、白井、井上等の諸夫人初め其他約五十餘名集會して這回開催の愛國婦人會總會に就き打合せの爲め相談會を開き午後四時散會したり

◎軍艦へ林檎贈呈

仁川府廳にては仁川港碇泊軍艦に對し容禮の爲め林檎十箱を艦隊一般へ梨一箱を司令長官に贈呈せりと

◎各團體水族館觀察

九月二十六日水族館觀光團は元山每日新聞社團七百名黃海郡乙組百二十四名釜山高等女學校生徒八十名全北群山郡二十八名なりと

◎別府選手大連へ

別府商行選手本日午後一時商船哈爾賓丸にて大連に向け出發したり(廿五日午後二時門司發電)

人事消息

▲工藤英一氏(全南長官) 二十五日入京浦尾に投宿
▲矢鍋永三郎氏(元山稅關長) 同上
▲古田忠德氏(門司稅關監視部長) 同上
▲福地信世氏(古河鑛業社員) 二十五日朝鮮ホテルに投宿
▲ブラウン氏(商業家) 同上
▲佐木藤太郎氏(慶南道長官) 二十五日午後十一時釜山發二十六日京城着

ケープ

●男兒用 襟下長さ鯨二尺 スコッチ及黑ラシャ製三種 頭巾付金參圓廿五錢均一 增長一寸迄毎に廿五錢增
●女兒用 紋朱子襟下長さ鯨二尺 制縮緬模樣入紫色ラシャ製 頭巾不著 金參圓六拾錢 頭巾付は定價の一割五步增 增長一寸迄毎に廿五錢增
送料代金引換四十錢前金十二錢(元金品形狀如圖不向返金) 高等洋服確廉目錄郵券四錢

大阪市東區谷町二丁目 振替大阪二八四一 電話東九九五五
上村彌勝高等洋服店

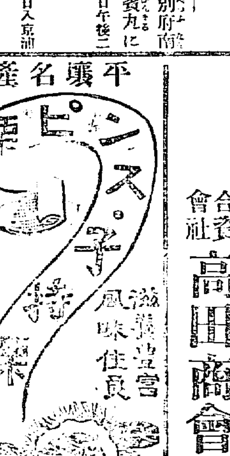
鑛石買入廣告

一、タングステン鑛
一、水鉛鑛
一、マンガニース鑛
一、亞鉛鑛

右買入候間多少に不拘御來談被下度候

京城南大門通四丁目二十二番地(電話二四二番)
合資會社 高田商會出張所

平壤名產



滋養豊富 風味佳良

弊店製品は共進會々場平安南道賣店に於て出張販賣致し居り候間是非御立寄り被下度休憩所の設備も有之候

平壤 秋鹿商店 電話三四四番

自轉車はミヤノに限る

販賣品は極度の安價にして

修繕は至極親切叮寧に致します

京城南大門通 新井藥舖前 電話二三七三番

臨時宿營業開始

共進會開會に際し觀覽客の御便利を計り宿泊料は特に規定の半額とし尙ほ觀覽案內者を附隨爲致可申候間陸續御投宿之程伏て奉希候

御料理 龍山 和歌の家 電話三八番

機械油カーバイド

車印機械油 輕油 重油 製造販賣
日本石油會社機械油 九州一手販賣
信濃電氣會社カーバイド 西部一手販賣
本店 門司市錦町(電話五一五番)
製油所 新潟市關屋大川前(電話三三三番)
岸商店

露西亞物產雜貨一式
歐米洋酒食料品
北鮮產石鍋石器類

元山府仲町 西澤商店 電話四六四番 振替京城二七四九

廿六日の日曜に此券御持參の方に限り平日通りの入場料で歡迎いたします。但一枚一人と限らず、多數御同伴で差支ありません

は尠からざる影響を蒙り戰亂勃發以來大連の歐洲航路に從事せる大連出帆船隻數は昨年に比して約半減の四隻十萬噸餘の減少ナ…にすれば英國汽船は十二隻にて左したる變動なきも戰亂前二十二隻を運…陷れるに反し日本船は目覺しき活躍を呈し戰亂前僅か二隻其噸數八千二…倍額を示せり昨年七月以來一箇年の歐洲輸出總額は八萬四千二百七十四…

大豆　自大正二年七月至大正三年六月　六八六九　自大正三年七月至大正四年六月　三九三六一

…京城日報社前より入京中なる某內地新聞記者を光化門前迄乘せ行き不當…

李王の御感賞
共進會場御見物

降りみ降らずみの空重々しう垂れた廿五日の午後二時、李王殿下には共進會を御觀覽に相成つた、之れより先き共進會場、光化門通は當日鮮かに掃除されて

■警備巡查は全部非常召集され

光化門通の春日燈籠の間々、場內の各所に配置され光化門の中央大門內の柵は撤せられて一般入場者は東口の閲覽入口から入場せしめてゐる一時半頃から第一號館は一般の觀覽を斷つて、正門前には荻田共進會掛長以下各役員、山形事務掛長、金谷協贊會副會長、井上理事長、原田評議員、三浦事務長その他協贊會各役員、朝鮮貴族等正裝して殿下の御來場を待ち受け、尚ほ開場以來のレコードを作つた此日の觀覽入場者六千餘名を首め一般入場者はこの盛觀を見んものと門口から一號館にかけて兩側に人山を築いて整列して居る門外はと見ればこゝにも見物の人波が堵の如く街道の東西に押し列んで電車通りまで續く中を李海昇、李海昌の兩侯を首め李王家一族の貴顯、李完用伯其他李王職事務員等馬車或は腕車を驅りて來り相前後して入場する、午後正二時當日の案內役たる山縣事務總長は馬車を驅つて迎秋門より入場第一號館前に到り一同と共に殿下の御着を待つ、折りしも嚠々たる馬蹄の響さくと見てあれば[illegible]からは嚠喨たる奏樂の音が起る[illegible]て前後を五名の騎馬巡查に護衞されて李王殿下の馬車、次ぎに李堈公殿下、次ぎに閔李王職長官と小宮次官が同乘せるもの、次ぎに李埈公殿下、最後に趙重應子、と

■五臺の馬車相つぎて轍に砂を蹴り威儀堂々と光化門から第一號館の正門に乘りつける、山縣事務總長の案內で馬車より御下車成りたる

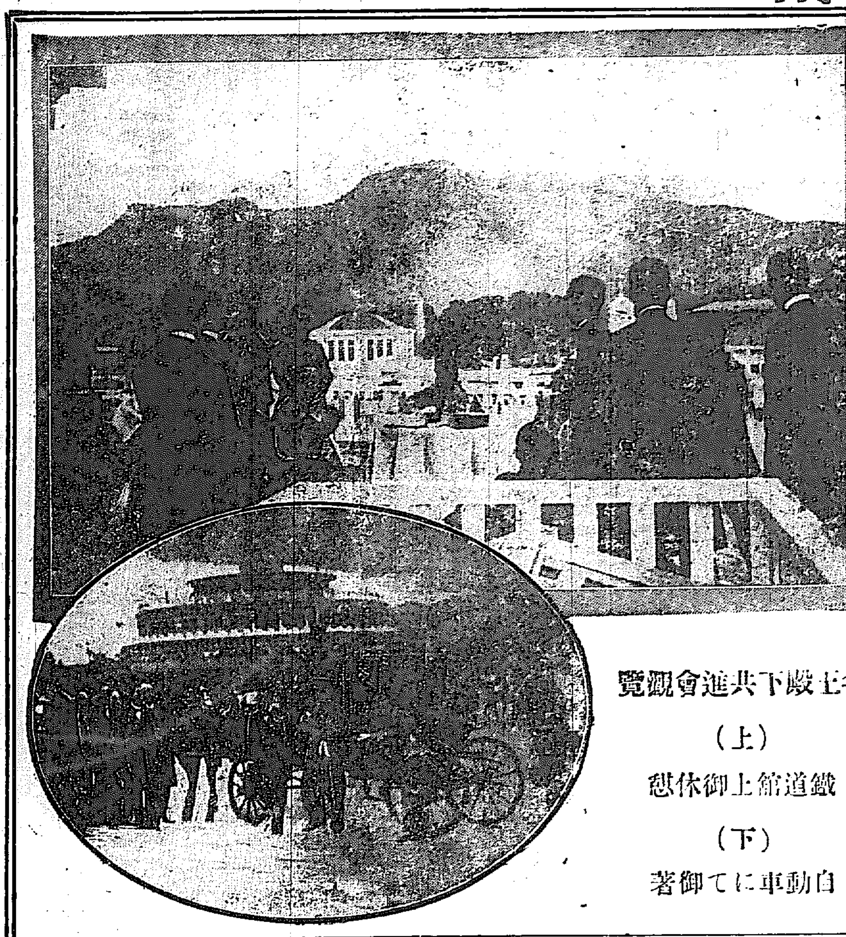
李王殿下には陸軍大將の御服裝に菊花大綬副章と金尺章とを佩び右手にシガーを持ちいと御機嫌の御樣子に見受けられた、それより山縣事務總長の先導にて農業部を東へ順次仔細に御觀覽あり趙重應子は常に殿下の御眼に留つたものについて一々說明申上げ山縣事務總長も藤波通譯官の通譯でいろ／＼御話を交はされる、農業部では勸業模範場の出品に最も御眼が付いたらしく暫時立ち留つて趙重應子に御話がある、拓殖部では數多い模型の中から李王職出品の水原牧場の設計模型を御覽に從つて[illegible]事務官から詳しい說明を御聞になり、林業部でも水原花山森林の模型を丁寧に御覽あつて、こゝでも伊藤事務官の

說明に御耳を傾け頷る御滿足の樣子であつた、それから鑛業館を經て水產館に入ると[illegible]の模型標本や[illegible]場內の[illegible]、[illegible]工業部では工業傳習所や[illegible]美術品工場の出品に殊の外御注意深い[illegible]御眼を留めて御覽になり一號館を出て鐵道特設館に向はれると館前には大屋長官、和田總務課長、堀內技師一ノ瀨驛長以下鐵道局員が御出迎へ申上げる

■殿下には京元線風景歐亞連絡の地理模型の前に可成り長く足をお留めに爲り京釜線のケーブルカーの線について階上に向はれる、一方此時用意されてあつたチーブルカーには山縣事務總長、閔長官、李埈公殿下、小宮次官の順序で搭乘、殿下とは反對の京元線を上向する三階上の間には卓子金の緞されたる椅子等が用意されて殿下を迎へる準備が出來てゐる殿下は共進會場に向つた用意の席に御著席あつて隨行の諸員や山

縣事務總長と御會談がある、鐵道ホテルより調進した御茶を召したる後金谷協贊會副會長井上理事長、原田評議員等を接見して協贊會事業の勞を多とする旨の御言葉がある、かくて午後三時鐵道特設館を出て東拓諸役員の出迎へで東拓館を御一覽になる、同館では[illegible]作業や脫穀法、實物大の模型に御眼を留まつた[illegible]上げた協贊會[illegible]演藝館を御覽に成る可き御言葉があつたので

■豫定を變更し餘興場に向はれ午後の餘興の開演時とて直ちに階上の中央に席をしつらへると殿下には最初演藝館內の舞臺の美麗なるを十分に御覽の豫定であつたのが中券の御代の榮の舞踊が始まると**御感興そゞろに湧き**舞臺の變る毎にお側の者に御言葉があり熱心に御覽になる、中にも石坡亭の舞臺が現れた時は李埈公をつい[illegible]顧みてその華かなるを御歎賞になる[illegible]も御立ちの御樣子なく御見物になること暫時昌德宮秘苑の背景[illegible]迄の間に演藝館前に待ち受けたる馬車を驅つて御還幸の途に就かれた



李王殿下共進會觀覽　(上)鐵道館上御休憩　(下)自動車にて御著

慶會樓下の大招宴
京城協贊會の記者團招宴
數寄を凝らせる餘興の數々

京城協贊會の全國記者團招待宴は廿五日雨晴れし午前六時半共進會場景福宮の後園慶會樓下に開かれた宴會場は京城名物石柱挾んで十數臺の大食卓を連ねられ日本料理の行廚は頗る氣が利き、宴席に侍らした百餘名の妓生は內地、鮮人の粹を蒐めたもの宴酣なる頃協贊會長吉原東拓總裁は中央に立つて『朝鮮新聞協會の斡旋に由り京城に於て全國記者大會を開會せられ多數の內地新聞記者は我が京城に參覲せられた此機會に於て協贊會は諸君を招待し粗餐を呈することを得たるは我々協贊會員の光榮とする所である、朝鮮の事情は比較的內地に紹介せられ居らず時としては誤解せられ居るもの尠からず今回の記者大會に際し有力にして新らしく視察せらるゝ事は朝鮮の爲めに我々の以て光榮とする所であると同時に充分なる觀察を遂げ朝鮮の事情を紹介せられん事を熱望し更に御高評を仰ぐを得ば又以て他日の進步發達に資するもの多かるべし』と一場の挨拶を述べ終れば東京經濟雜誌社長鹽島仁吉氏立つて全國記者團を代表して今夕我々の爲め如斯盛宴を張られたるに對し謝禮の辭を呈する光榮を有す、朝鮮始政五年物產共進會の成功せるは民間に於ける協贊會の努力に由り成功せりと云ふも過言にあらず、官憲の施設と國民の協贊とは相俟つて茲に朝鮮統治の實を擧げ盛大なる物產共進會を開催するに至りしものと信ず、我輩は筆の人にして口の人にあらず一句を呈して答辭とすべしとて滿場割るゝが如き拍手裡に『明日よりは[illegible]と謝して[illegible]同氏の發聲にて協贊會の萬歲を三唱し協贊會副會長子爵趙重應氏の發聲にて記者團の萬歲を三唱して終れば阿部京城日報社長は記者團は本日を以て解散、明日は或は滿洲、或は滿鮮の視察に向ふべきを以て此機會に於て一言內地記者團に對し訣別の辭を述ぶべしとて一場の挨拶を述べ世界新聞編輯長野澤枕城氏は內地記者團を代表し朝鮮新聞協會に謝辭を述ぶると同時に朝來厚かりし宴は時に暮光大に燦めいて中秋の夜は淸く爽かに[illegible]官民諸君に謝禮を述ぶとて一場の演說を試みて降壇、宴酣なる頃慶會樓前の池中に仕掛けた

花火は轟々天地も割れん許りの響音を發し睡れるが如き池中には時ならぬ火の花が咲き亂れた『蒲鳴』の仕掛け花火は見事に揚げられた、斯る內宴は益々酣に入りて興愈々盡きざる內演藝館は開かれて、隨意に退散、餘興場に向ふた、此夜の餘興は、妓生廣橋組合の『無碍舞』茶洞組合の『聖澤舞』日本藝妓は京城券の『ついのよへ』中券の『御代の榮』等ありて非常な盛會であつた

忙しかつた記者團の一行

全國記者團は滯京三日、視察やら宴會やらで隨分忙かしいものであつた△雨が降つた爲め纛島の東拓の接待會が中止になつたが△其れでも山縣政務總監の朝鮮ホテル、大屋長官の花月の東拓と新聞協會の連合招待宴、李王家の饗應、鮮銀の明月館、其他の協贊會と都合三日に六回の招宴△併し何れも趣向を變へて居た爲め重なる宴會も飽かなかつた△鐵道大競演△口八丁手八丁の豪傑が百五十人も一堂に會して御輿を降したので虹の如き氣焰は隨所に盛んなものだつた△鮮銀の明月館も大受で朝鮮料理の試食は猛烈なものだつた、料理の種類が都合十七種第一に神仙爐、煎油魚、生鮮、雜蒸、魚膾、餠、藥食花菜、蜜菓、サンドイチ、生菓、正果、沈菜、白淸、食醯[illegible]と云ふので一々試食する丈でも大抵の事でないが珍らしいので皆んな競うて詰め込んだものだ△餘興の妓生の踊も大當り、餘興に妓生の[illegible]日本藝妓より妓生の方が大持だつた

□今日の演藝館

◇晝之部

二十六日晝の演藝館は京城券番と妓生茶洞組合にして、出物は左の如し

△御代の榮(踊)[illegible]
△つひのるよへ(踊)千代香、[illegible]
△地方　[illegible]
△妓生茶洞組合
△響鈴舞　[illegible]
△舞仙　[illegible]
△劍舞　[illegible]

◇夜之部　前日と同じ

△活動寫眞　[illegible]
△妓生手踊
△三河屋仕掛煙火　[illegible]

は道に粹な趣向でしつこくない接待振り△中の日の花月の宴會は近來珍らしい盛宴で主客共十二分の歡を盡した△纛島と小袖幕の餘興が終つてからの來賓側の餘興が大變でステテコ、義太、浪花節と何れも劣らぬ大入りなりと

△御成座　[illegible]
△佐久良座　[illegible]
△松旭齋天洋來る　[illegible]

土曜午後の家庭博

二十五日は朝來空模樣怪しく動もすれば降り出しさうな天氣であつたにも拘らず、連日通り入場者は些しの絕え間もなく詰めかけてくる、土曜日といふので役所歸りの人達やその他に家族連れの人達が大分入場した、午後京城女子高等普通學校の生徒二百名が柴田教諭その他の教師に引率されて入場したが朝鮮婦人といふても新教育を受けつゝあり、日本語も達者に出來、常識にも富んでる人達ばかりの事とて熱心に觀て歩く傍ら要領を得た質問を發しては先生や記者に說明を求めてゐた運動場に出ては寶店でお土產を買つたり、安さんに調戲かつたり、遊動圓木で遊んだり一時間ばかりを愉快に遊んで歸つた、四時頃朝鮮銀行招待の明月館の

宴會崩れの記者團の連中が續々やつて來ていゝ催しであると殆んど異口同音にお世辭を振り蒔いてゆく、四時半頃夕立があつたが忽ちに歇んだので夕景から夜間にかけての入場者は非常に多かつたのであつた、此の日團體としては前記女子高等普通學校の外に全南咸平郡の百二名永登浦公立普通學校七十五名全南靈光郡の五十一名李王職々員團體の七十名京畿道驪州郡公立普通學校の二十四名仁川公立普通學校の百四十名黃海道載寧郡の六十名等があつて岡京城瓦電專務同島田營業課長等も見えた

家庭博と餘興

二十六日は家庭博覽會の餘興として高杉醬油店京城出張所の景品付風船飛揚あり

今日の家庭博覽會

日曜日

▲是非とも來觀せられたし▼

本日は日曜日(入場料倍額の日)ですが本紙愛讀者に限り特に晝夜とも平日通り(大人十錢半額　入子供半額)に致尚御來觀の節は欄外刷込の優待券を切拔いて御持參下さい優待券は一枚御一名と限らず何名でも通用いたします

家庭博覽會

京日案內

◎番外　[illegible]

外交員數名募集　共進會內朝鮮名產松の實餠一箱十錢龍山名物漢江羹一箱十錢精品美味腐敗せず旅價にて御土產用最好適品▲製造元龍山三角地前陸軍御用達石見堂 610　本人來談京城地町一丁目電六五九番經驗ある希望者は履歷書携帶御都位御大禮奉拜團朝鮮總務部 608

◎下宿兼旅館讓る　市內唯一の場所格安此際至急讓る(姓名在社) 609

◎萬染物所　京城南大門通(御取次所)御申込 [illegible] 御染物洗張迅速に御用命願候 606

◎琴曲教授　山田流生田流 [illegible] 希望者は此際申込れ 605

共進會土產　記念寫眞撮影料金市內より安價御注文に應ず故松嶋先生門人 國田松葉 604

▲荷造箱製造　小包箱御註文に應ず京城本町二丁目電話二八〇一番 長谷川製箱所 603

◎開業披露　旅館 市內諸方の出入に至便の場所南大門外南キツ 電話一〇三二番 南旅館 599

◎諸建具販賣並表具　新古書畫掛軸種々賣物あり京城南嶋町七十二番地 庄司建具店 597

◎古着古道具類　右は相當價格を以て確實に買受候 旭町一ノ廿一 電話一八二二 クヅ谷商店 500

▲りん病ばい毒　にて困る御方は御出でなさい詳細は本月四日の京城日報を御一覽あれ 京城南大門外 ドラッグ商會 503

好職業　[illegible] 共進會期中各道特に廿名に限る無料傳授す 京城大漢門前 太陽商會 567

古本は野村に限る　買入誠實御報參上(電二六三六番) 京城本町一丁目下る 明治町 野村書店 457

◎はねつぎ　うちみくじき等一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 452

◎旅館　親切丁寧御料理吟味三人以上なれば御投宿各室設備あり團體は四五日前に御報あれ精々御便宜計升(中學校前)京城西大門町二百〇三 優製旅館 447

賣地　京城南大門通商家屋の敷地凡そ廿九坪望の御方は黃金町壹丁目電話一〇一五へ御來談を乞ふ 喜多金光堂 416

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入電話二二八三番 國江商會 425

◎開業披露　旅館 親切丁寧は弊館の特色閑靜二階二階眺望佳 吉野町一丁目電話一三二七番 新開舘 598

恩給年金類立替　京城御成町 電話二七七七番 山口屋 426

◎下宿大至急讓渡す　清潔間數も相當且庭內自在々の業務なるも急に日本へ引揚の爲め讓渡し至急申込め(姓名在社) 600

皮膚病花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇三番 566

恩給年金類立替　京城若草町壹丁目一〇六井出郎內 電話二二六三番 西村商會 427

◎土產品は翡翠に限る　明治町二丁目朝鮮高麗燒 朝鮮菓子 新羅燒 [illegible] 544

恩給年金類立替　京城永樂町壹丁目四十四番地 商品陳列館前 電話八〇三番 江州屋 429

普通　[illegible]

配達夫募集　新聞配達人數名至急入用但し市內に確實の保證人ある者 京城壽町 町田新聞部 611

貸家　日本建溫突付三室 [illegible] 管理者 [illegible] 507

職工入用　木工ダライハン職工二名至急雇入る希望者本人來談 京城永樂町一丁目 [illegible] 607

被服品拂下入札告　[illegible] 十月十一日 京城憲兵隊

小賣　[illegible]

新刊書籍案內

有錄　[illegible]
印度佛教史　[illegible]
人性の科學的研究　[illegible]
新理想主義教育　[illegible]
漢文故熟語集成　[illegible]
國語百談　[illegible]
新釋中學名詩全集　[illegible]
諸貸金取立法　[illegible]
東海道五十三次納　[illegible]
クオヴアヂス　[illegible]
向日葵　[illegible]
加藤寬島　[illegible]
大將乃木　[illegible]
向上の鐵槌　[illegible]
野心論　[illegible]
英國勞働不安　[illegible]
將棋必勝法　[illegible]
滿鮮こころ／＼　[illegible]
ヴエルレーヌ詩抄　[illegible]
盲目　[illegible]
英文日本年鑑　[illegible]
園藝定石講話　[illegible]
狸爺家康　[illegible]

京城本町一丁目 大阪屋號書店

鳥羽屋 永樂町本願寺通 [illegible]

瓢の旗風（563）

番衆浪人

賤ヶ嶽前記（五）

三道の侵入、殊に秀吉が、親ら選んで、大軍を進める安樂越は、實に鳥も通はぬ嶮岨で、樵夫の通ふ道さへもない。

涿々たる、羽柴軍侵入の注意に、一益も、老臣を集めて、頻りに防禦の法を講じた。

『騎と、關とから、何の注進も來やらぬかよ……』『其れにしても、奇ッ怪なは筑前、何んで、彼の、嶮岨な安樂越を取つた、持番習者と呼ばれた彼、何う云ふ策があるか、抑ても……』

流石の一益も、秀吉が、無謀にも至難な道路を選んで、進んで來るには、解し難い處が大分あつた。

『殿！筑前が、彼の安樂越の、進み來るは唯旗下を疲らすに止まる、無謀の策と計り、其の疲れた處を急に逆襲のして、不意に斬り崩さば、如何に、加藤、福島輩が、鬼でも蛇でもやはか一と溜りも御坐りますまいに』小林直八は、却て羽柴軍の、疲れた處を、一時に斬崩さんとの計略。

『其れも好い、まつた、龜山の新助の手、國境に出いて、關所〳〵で喰ひ止める……』日置五郎左衛門尉は主張する。

『御注進と御坐ります』取次の後から、ふれ込み。

『直ぐ通しやれ』と山添九郎太夫は云つた。注進に來た男は、關大藏であつた。

『ヤツ、大藏、龜山は何とぢや』一益は膝を進めた。

『ハ、黒田官兵衛、堀尾茂助等の一手、六千餘人は、最う岸の城に、まつた、蜂須賀父子、堀久太郎等の一手は、五十餘人で、安藝守盛信が案内とあつて、之れも早や、關の城へ、中川瀬兵衛、木村小隼人等の一手、三千人は龜山の城へ、筑前は一萬二千人を、七段に備へ、最う神戸白子の邊迄參つて御坐ります』一座は此の注進には、アツと呆れて、暫時言葉を出すものもない、實に神出鬼沒、秀吉の此の行軍には、唯々其の迅速、風の如なのに、舌を捲かさするより他はない。

『エ、小癪な、昨日迄も、鳥居本番場に支へて、美濃に向ふと聞いた、に、何時の間に、領内迄來をつたか、誰かある、早う龜山へ援兵の要意……』山添九良太夫が、旨を領して立ち去つた後へ、又た第二の急使が走せ付けた。一益より先に、心配気に膝乗り出でたは、老臣の谷崎忠右衛門である。

『何とぢや、早う……』使者は息はづませながら。

『筑前の兵、夜の間に、大勢城下に押し詰め、在家へ火を放ちまいて御坐ります』

『フウ』と一益は吐息した。

『火の手次第に、お城に近くより、城内のもの、火消に出て申しますと、煙の内から、ドツと押し寄せまいたのは、加藤虎之助の、一手で御坐ります』

『無念』と一益は歯をバリ〳〵噛んだ。

『三九郎殿、要害堅固に、龜城の下知ありましたが、風は強し、火の手はお城に迄、四方八方から、二の丸三の丸へは、見る〳〵燃え移りまいて、今は唯本丸での籠城、早速なら、御援兵の御注進で御坐ります』

『新助は、まだ存命かよ』一益は使者に問うた。

『ハ、佐治殿、唯今必死の防戦と御坐ります』

目を閉ぢて居た一益。

『ア、新助も今は釜中の魚か、其の城一つ持ち堪へたにて、味方の勝利ともあるまい、方便のつけて早々退く樣に……』

クツと見開いた、一益の兩眼には無念の露が、湧いて居た。

◎レート化粧料の光…… [illegible]

御大典記念メタル……造幣局にて鑄造 [illegible]

五百年來家傳製法
朝夕御常食になれば體量を増す血色を好くす
三味噌
電話にて御注文被下候はゞ直樣御屆致し升…
電話九八二番
京城太平通　遠藤商店

最上醤油
金銀賞牌受領セシ
芳香風味天下一品
平壌　宮川醸造

活字販賣　其他附屬品各種
京城太平通一丁目　初田活版製造所

▲廣告▼

旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

かぜねつ最良藥
偽せ物あり
蛇印商標に注意
三大特長
一、藥價の低廉
二、劇藥の配伍なし、副作用なし
三、胃中に溶解し易し
効能　●風邪　●ねつ　●流行性感冒　●頭痛　●おこり　●マラリヤ　●麻疹
價　十錠十五錢　廿五錠　家庭用入五十錢
本舗大阪丹平商會　賣捌は全國各藥店に
アンチピリン丸

日韓瓦斯電氣株式會社製品
コールター　特約販賣　巴商行
龍山漢江通八番地　同　樋口米太郎
鎮鑰其他鑄造製作　久保田鐵工所代理　工場　電話四二四番
電氣用品工事設計請負　中村製作所代理　京城明治町二丁目　同支店　電話一四二五番

秋の日ヤケは一番強い
日ヤケを防ぎ、色を白くし、美人となる家庭唯一の美容化粧料
ホーカー液
を朝な夕なにお使ひなさい
品質最優良なる化粧料ホーカー液は、貴婦人令孃、紳士、子供衆各位の御賞賛を博し、三越呉服店を初め全國到る處の小間物店にて賣行日日に盛也
本舗　堀越嘉太郎商店

常に充分
アルボース
を使用して居る者は其他の傳染病チブス決して恐るゝに足らず

清酒　鑵詰類　乾物類　雑穀類　海産物類　漆器類　家具類
鰹節　什器　箱膳　綿　茶　東京澤庵　火鉢　椀類
昆布　金物類　ストーブ　シヨベル類　履物類　荒物類　文具類
農具　紙類　花筵類　煙草　木炭　石油　石炭
國旗　提灯
仁川新町　津田兄弟屋　電話七六二番　振替京城三八九番
青島四方町十四號地　津田兄弟屋出張店

りん病　ばい毒　專門藥房
吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試験して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありません。只世界の有りとあらゆる淋病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試験に應じます。詳細は本月三日の京城日報夕刊第四面を御覧下さい。
●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓　●ばい毒藥一週間分普通貳圓特製參圓　●照會は返信券を要す
京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會朝鮮本部
本舗　大阪　合資會社　ドラッグ商會
長電話二五六七番　振替京城四六七番

大阪株式特電

二十五日後場

[illegible]

下關期米

二十五日後場（買過ぎ稍め安なるも押目買に氣直る）

[illegible]

▲後場落付く

前場大暴騰を報じたる……後場は一氣に五十九錢と反動安を報じ六十六錢と引返し居れり……

[illegible]

九月限　千四百石
十月限　七千百五十石
十一月限　三萬三千石

共進會クラブデー

九月二十七日より十月六日まで
クラブ化粧品の内何でも十錢以上の品御買上の方は

始政五年記念
共進會が
無料で見られます
其上品が御手に殘ります

共進會觀覽券
五万枚進呈
若し豫定期間中前記五萬人以上に達したるときは更に追加し全部に殘らず進呈

觀覽券進呈所
光化門通新衙際　クラブ化粧品總本店　臨時出張所
本町二丁目　クラブ化粧品代理店　古城賛化堂
京城日報社内　家庭博覽會　クラブ賣店

御買求の品は
京城・龍山の小賣店で御買ひ求めの上觀覽券進呈所へ御持參になれば共進會觀覽券一枚宛進呈

例へば　クラブ齒磨・クラブ乳液化粧水
又は　クラブ白粉・クラブ美身ゼリー
又は　クラブ洗粉・クラブ美身クリーム
又は　クラブ香油・クラブ化粧水
又は　クラブ各種化粧品の内價格十錢以上の品
御持參の方には殘らず
共進會觀覽券一枚宛無代進呈（御持參の化粧品には記念スタンプを捺して直ぐお返し申します）共進會が只で見られて其上品物が御手に殘ります

クラブ齒磨　クラブ白粉　クラブ洗粉　本店